1 設置条件及び確認

1 床材，壁材，天井材の条件の確認

①. 床材がフローリングであることを確認してください。フローリング以外の、カーペット，コルクタイル，畳等の床材には対応していません。

②. 床材のワックスがシリコン系の場合、メカニカルファスナーの接着が十分に得られない場合があります。そのため、ワックスがシリコン系のものには対応していません。また、フローリングの表面塗料がセラミックの場合も対応していません。

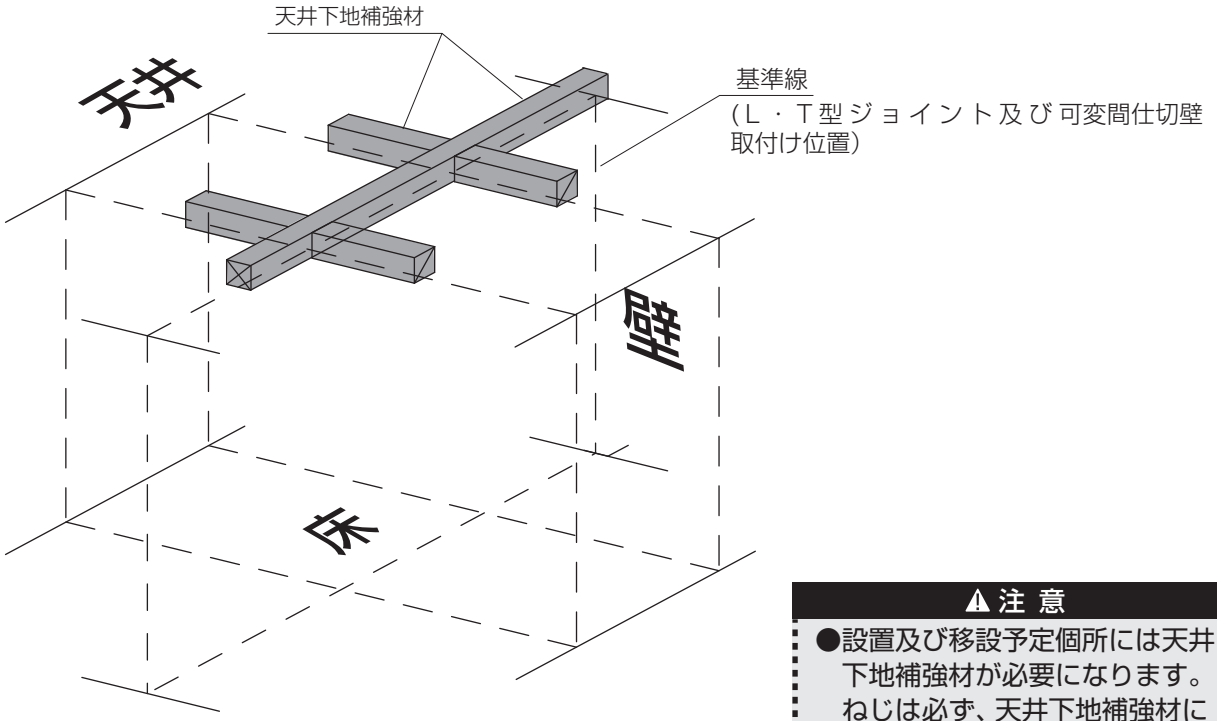
③. 床暖房のある居室には取付けることはできません。

④. 壁材が石膏ボードでクロス張りであることを確認してください。その他の壁材には対応していません。

⑤. 天井材が石膏ボードまたは合板などのねじ止めができる材料であることを確認してください。

2 天井下地補強材の確認

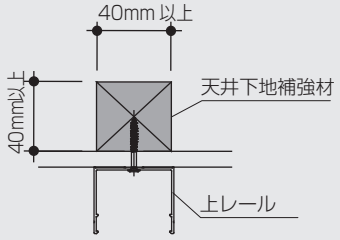
・本製品は、L・T型に取付ける為、設置場所に天井下地補強材が下図のように、交差に配置され、各補強材が通っていることを確認してください。



⚠注 意

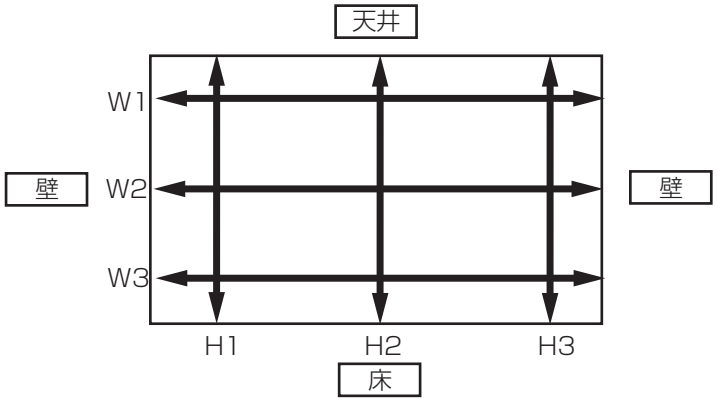
●設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず、天井下地補強材に止めてください。

●天井補強下地材は、40mm角以上の木材を使用してください。



3 設置場所の寸法測定

①. 設置場所のH1～H3，W1～W3の個所を測定し、精度がH：＋８，－５，W：±５であることを確認してください。



4 建築床の精度の確認

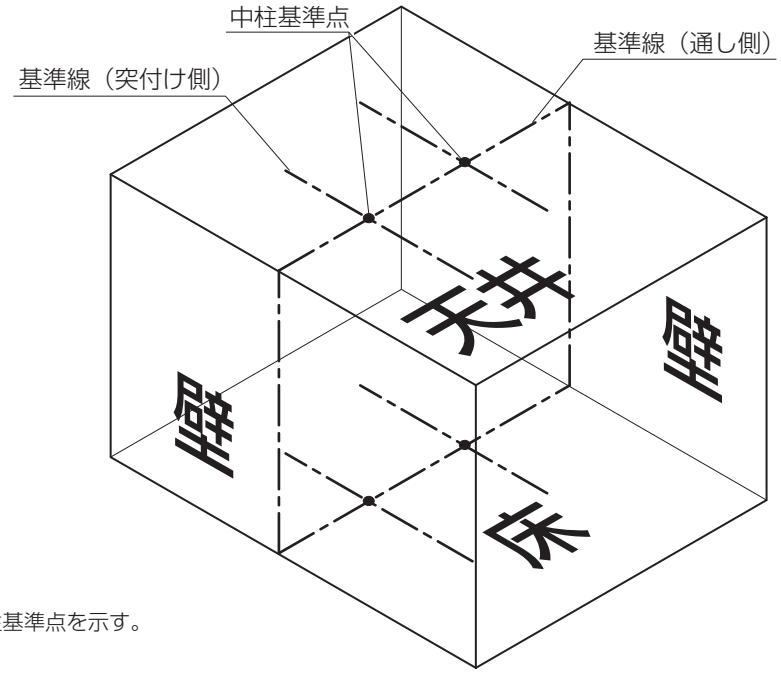
①. 建築床に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

5 建築壁の精度の確認

①. 建築壁に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

2 位置出しとマーキング

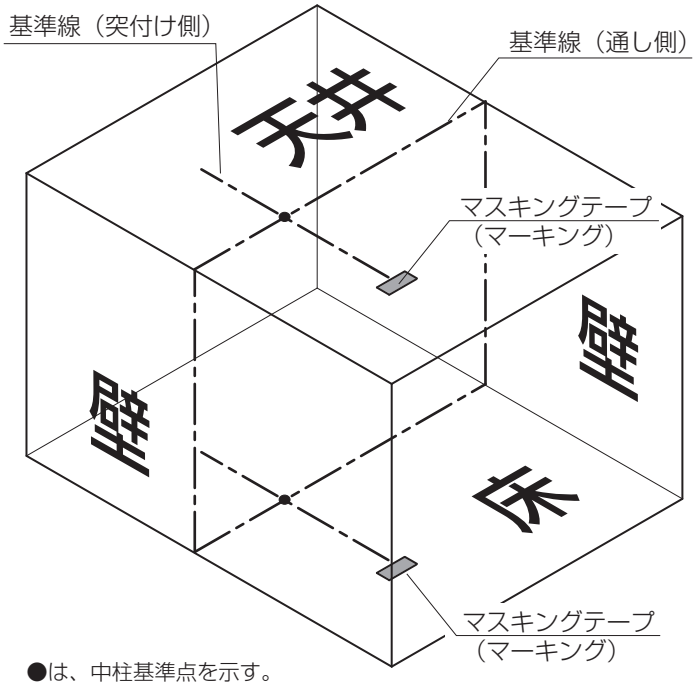
1 レーザー墨出し器を使用して、見込み方向のセンターとなる基準線(通し側)の位置出しを、床、壁、天井に行ってください。
L・T型ジョイントの取付け場所に基準線(通し側)に対して垂直に基準線(突付け側)を位置出しを床・天井に行ってください。
※基準線の位置に天井下地補強材があるかを確認してください。



●は、中柱基準点を示す。

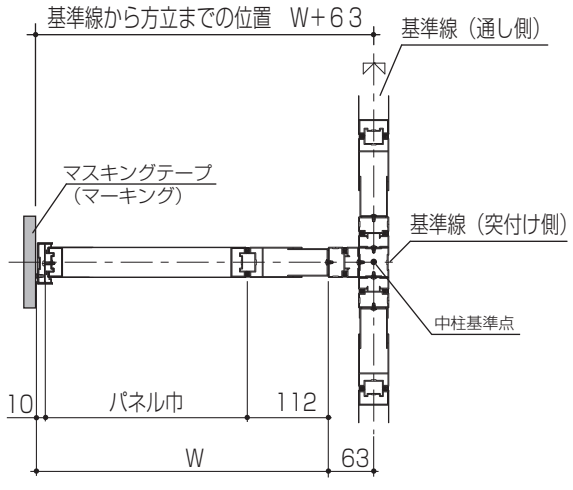
＜使用工具＞
- レーザー墨出し器
- 下げ振り
- 金尺
- one-push(ワンプッシュ)
- コンベックス
- マスキングテープ

2 方立が取付く場合は、方立位置にマスキングテープでマーキングしてください。



●は、中柱基準点を示す。

方立までのマーキング詳細



3 基準線をセンターに床・天井にそれぞれ、上ライナー、下ライナーを取付けるのに必要な取付け幅をマーキングしてください。マーキングの幅は、左下表1を参照してください。

※基準線の位置に、天井下地補強材があるかを確認してください。

※L・T型ジョイント - 壁の納まりの場合は、壁当りAを取付ける為、壁にも位置出しが必要となります。

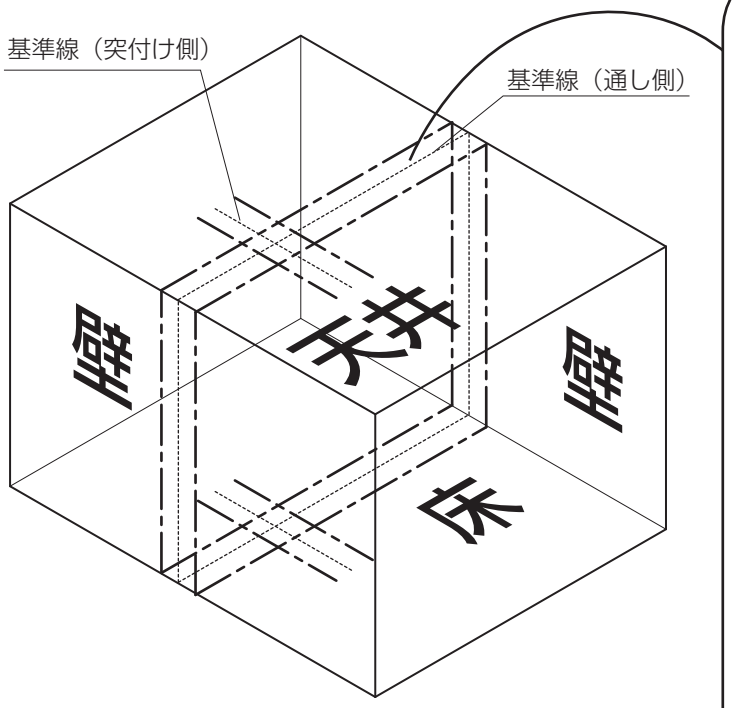


表 1

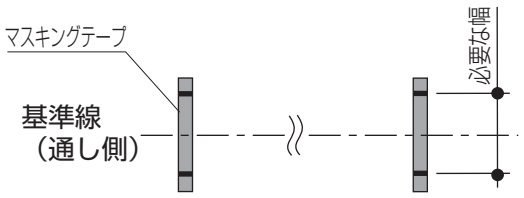
	必要な幅（マーキング幅）
天井	48mm
壁	55mm
床	42mm

＜使用工具＞

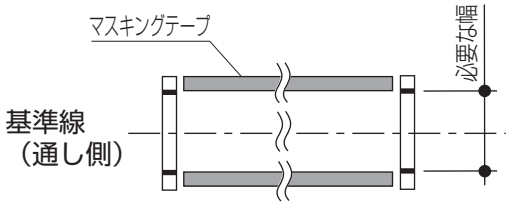
- レーザー墨出し器
- 下げ振り
- 金尺
- マスキングテープ
- コンベックス
- 鉛筆

マーキング方法（例）

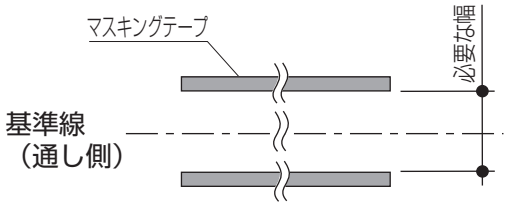
①. 基準線に対して垂直にマスキングテープを張り、各必要な幅を、基準線をセンターにマスキングテープの上にマーキングしてください。



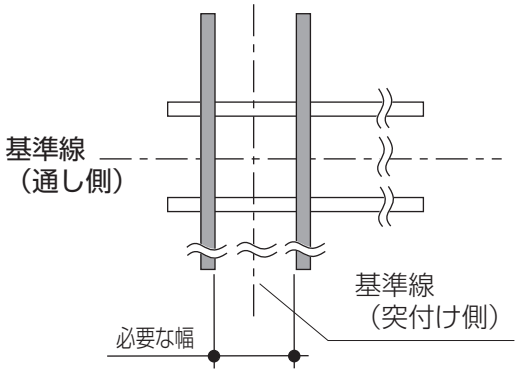
②. マーキングに合わせて基準線に平行にマスキングテープを張ってください。



③.①でマーキングをしたマスキングテープをはがしてください。これで残ったマスキングテープが必要な幅を示すマーキングとなります。



④.①～③の作業手順と同様に垂直方向にもマーキングを行ってください。



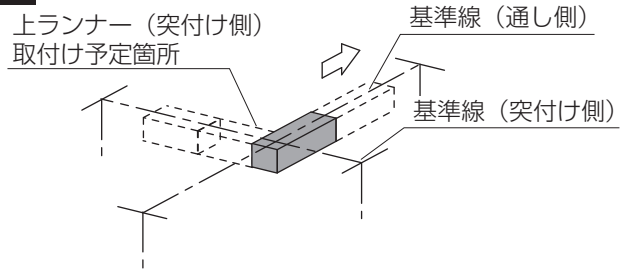
3 L・T型用 上ランナーの取付け

1 上ランナーの取付け

<使用工具>
・プラスドライバー
・コンベックス

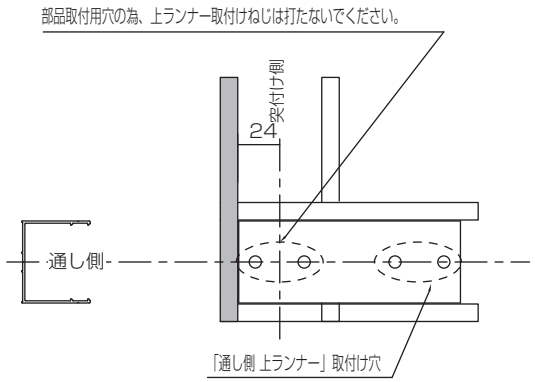
1-1「通し側 上ランナー(長い方)」を下図の位置に取付けてください。
天井のマスキングテープに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。
必ずL・T型「通し側 上ランナー」より取付けを行ってください。
(可変間仕切壁との連結による部材長さの調節は、可変間仕切壁側にて行います。)

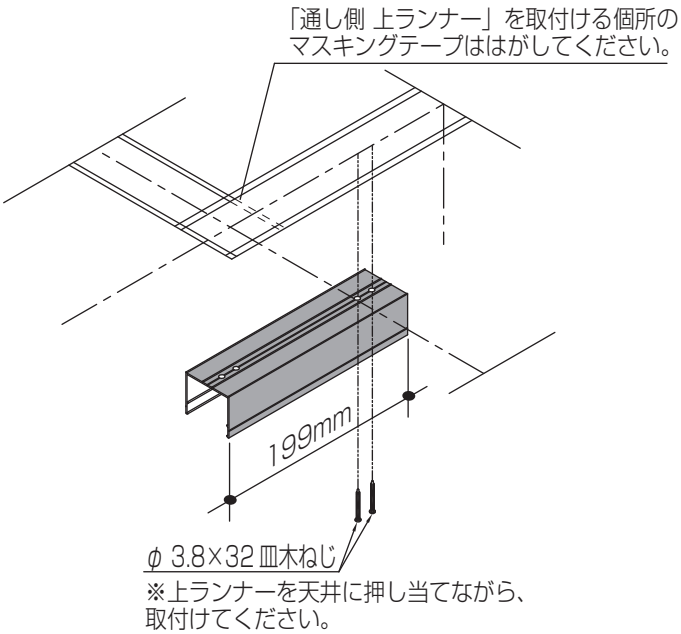
L型 マスキングテープの反対側(可変間仕切壁と連結する側)の連続する2つの穴を使用して、天井に取付けてください。



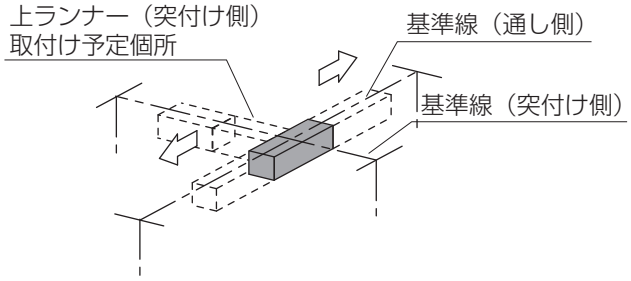
取付け位置詳細図

下図のように突付け側のマスキングテープの位置に上ランナーを合わせてください。



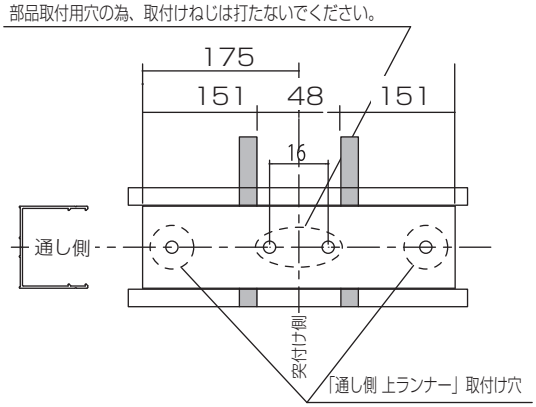


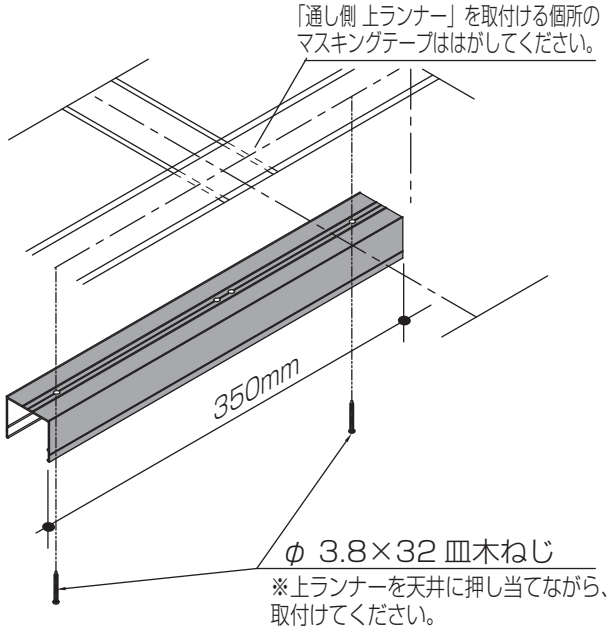
T型 下図の「取付け詳細図」のようにセンターの位置(マスキングテープの内々から両側：151mm)に
なるように取付けてください。



取付け位置詳細図

下図のように2つの穴の中心が基準線のセンターになるように
合わせてください。

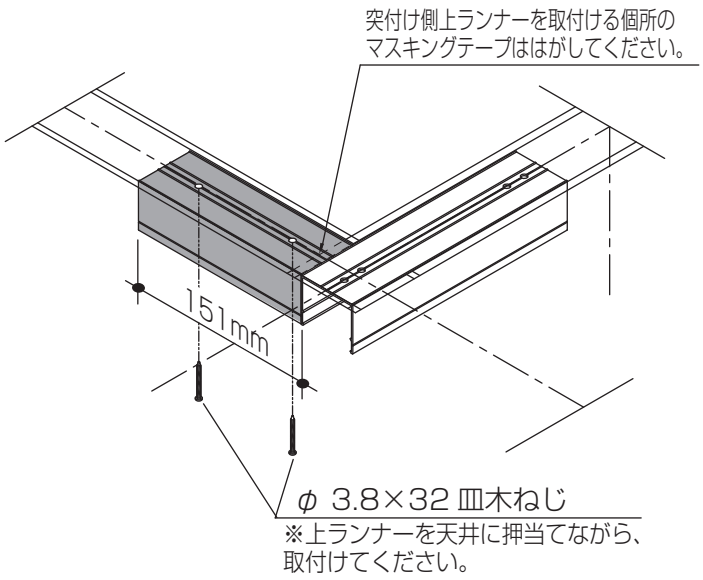




1-2「突付け側 上ランナー(短い方)」の取付け

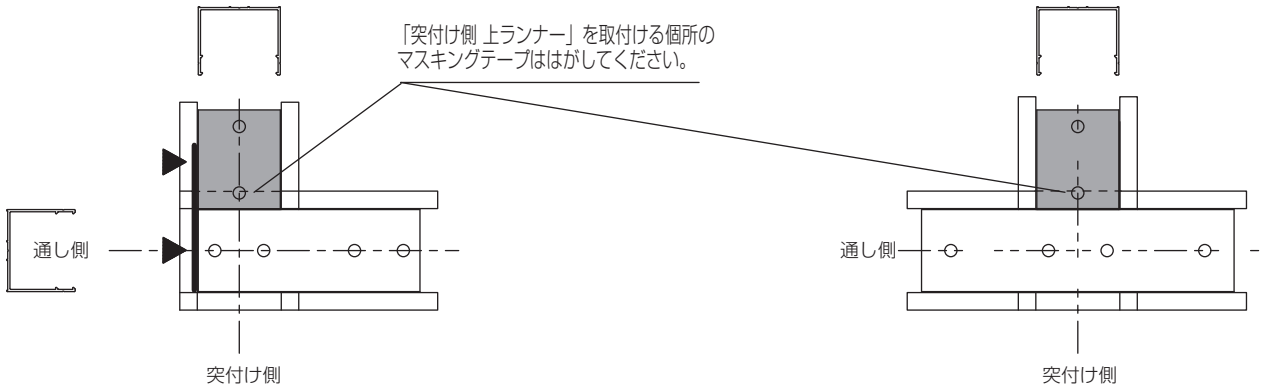
「通し側 上ランナー」に突き当て、天井のマーキングに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。

L・T型 共通 ※下図は、L型にて表示してます。



L 型 下図のように突付け側 上ランナーの側面と
通し側 上ランナーの小口面（▲）が揃っていることを確認してください。

T 型

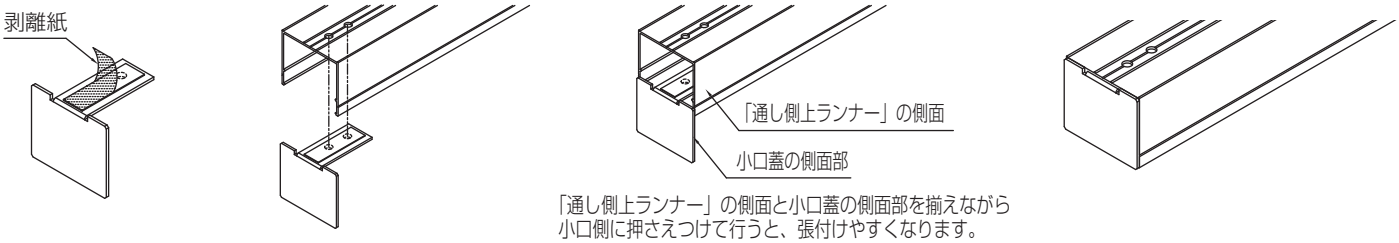


2 小口蓋 (L型のみ) および中柱固定金具の取付け

※中柱固定金具の取付けについては、P22に記載してあります。

2-1「小口蓋」の取付け

L 型の「通し側 上ランナー」を取付け後、コーナーの出隅となる小口に小口蓋を張付けてください。
小口蓋にある両面テープのリケイ紙をはがし、連続する2つの穴を合わせて張付けてください

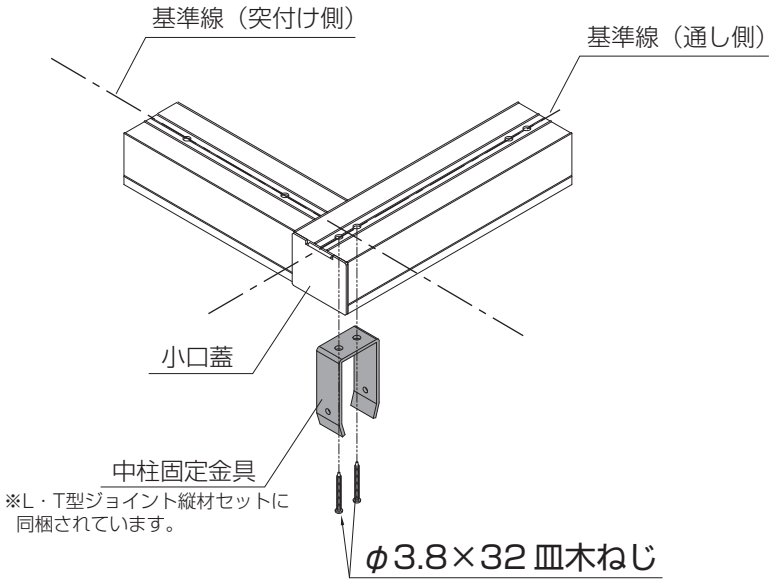


「通し側上ランナー」の側面と小口蓋の側面部を揃えながら
小口側に押さえつけて行うと、張付けやすくなります。

2-2　中柱固定金具の取付け

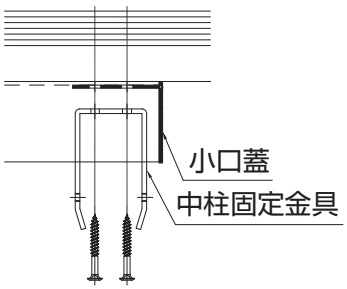
※中柱固定金具は、L・T型ジョイントセット内に同梱されています。

L 型 小口蓋を張付け後、中柱固定金具の取付け穴を小口蓋の取付け穴に合わせて、共締めを行ってください。

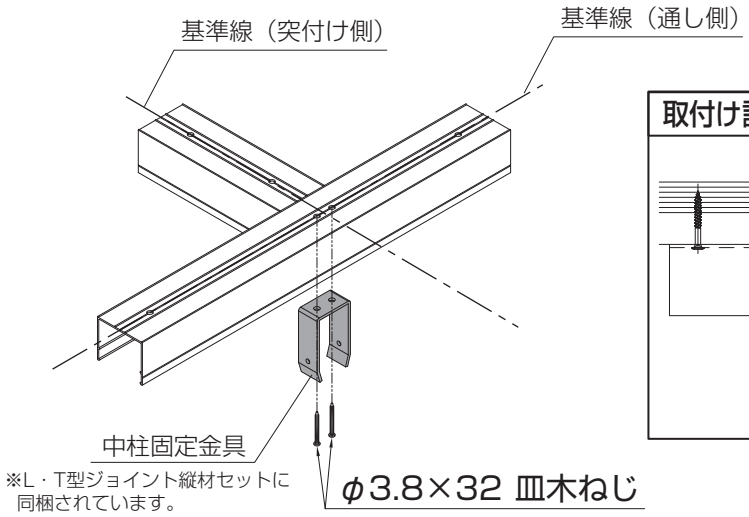


＜使用工具＞
・プラスドライバー
・コンベックス

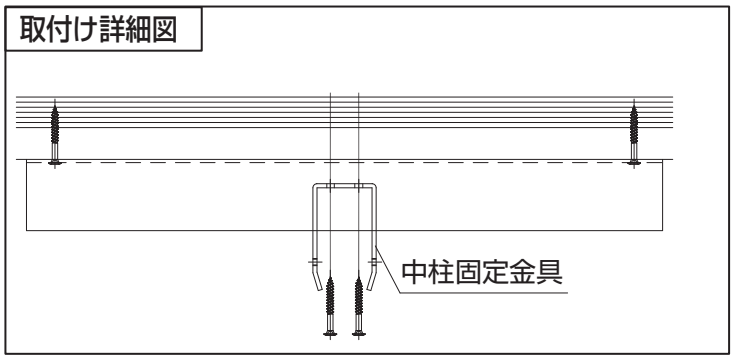
取付け詳細図



T 型 中柱固定金具の取付け穴を、通し側 上レール中央部の連なる2つの穴に合わせて、取付けを行ってください。



取付け詳細図



4 L・T型用下ランナーの取付け

お願い
※設置前に床面の汚れなどをキレイに拭取ってください。床面に汚れなどがある場合、十分な接着ができなくなります。

<使用工具>
・ウエス
・ハサミ

1 L・T型用 メカニカルファスナーの張付け

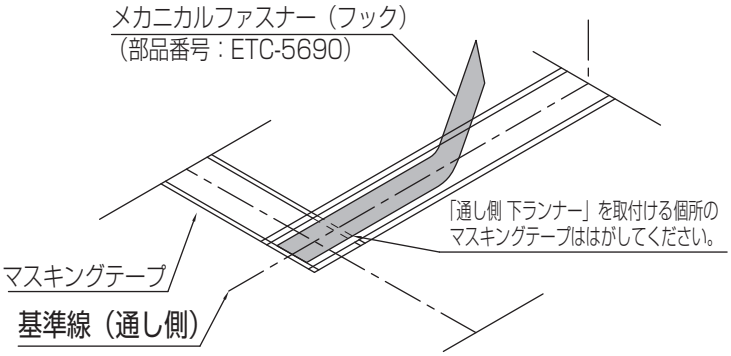
1-1「通し側 メカニカルファスナー(フック)」(床面側)を下図のように張付けてください。

メカニカルファスナー(フック)を前項で張付けた床面のマーキングのセンターになるように張付けてください。

※.メカニカルファスナーの張付け面に空気が入らないようにしてください。
※.メカニカルファスナーにゴミなどが付着しないようにしてください。
※.メカニカルファスナーのつなぎ目は、メカニカルファスナー同士が重ならないように張付けてください。

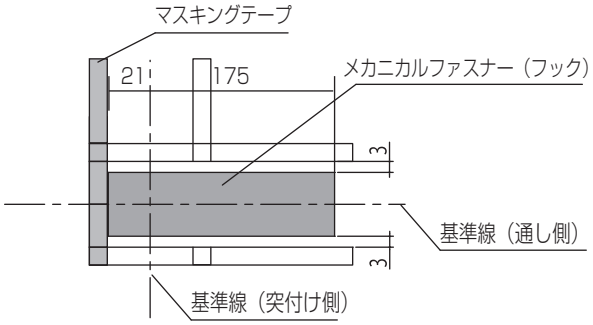
L 型

「通し側 メカニカルファスナー(フック)」を196mmに切断後、メカニカルファスナーの片側を交差するマーキングに合わせて張付けてください。(残りのメカニカルファスナーは使用しますので、捨てないでください。)



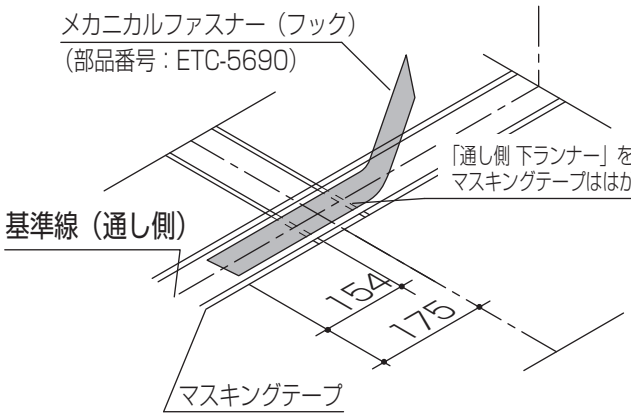
張付け詳細図

下図のように突付け側のマスキングテープの位置に合わせてください。

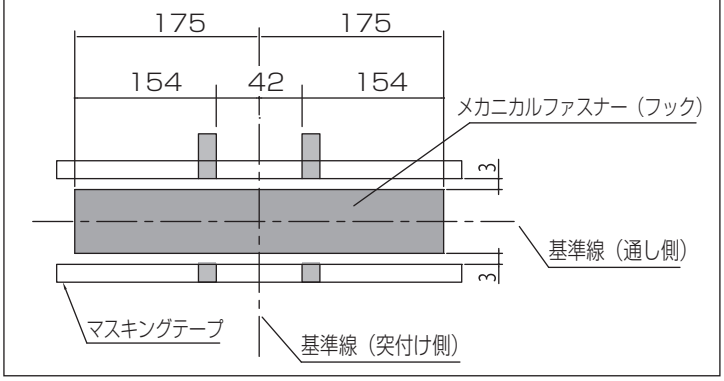


T 型

「通し側 メカニカルファスナー(フック)」を350mmに切断後、下図の「張付け詳細図」のようにセンターの位置(マスキングテープの内々から両側：154mm)になるように張付けてください。
(残りのメカニカルファスナーは使用しますので、捨てないでください。)



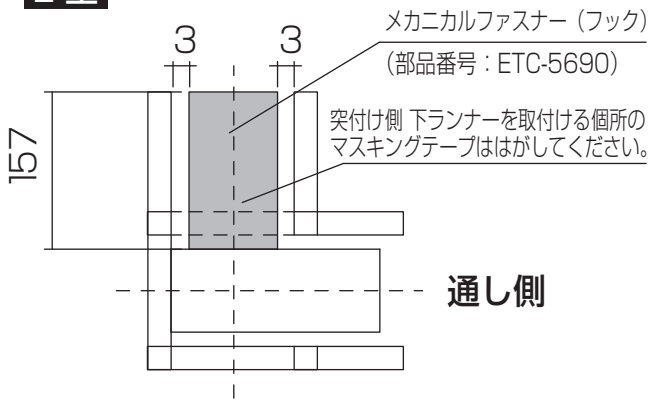
張付け詳細図



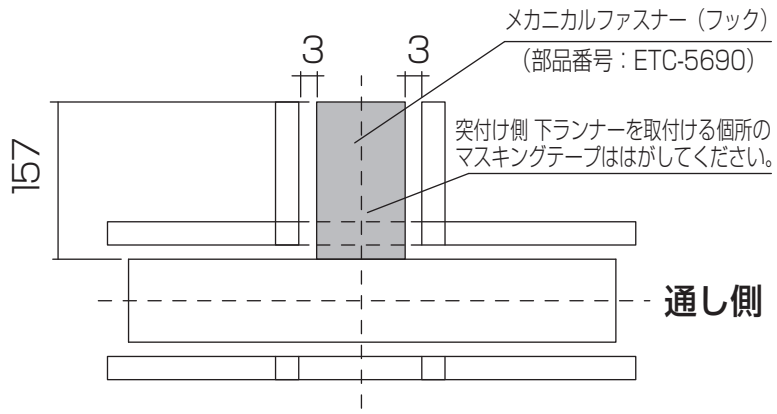
1-2「突付け側 メカニカルファスナー」の張付け（床面側）

※P23「1-1」で残りのメカニカルファスナー（フック）を使用します。
通し側のメカニカルファスナー張付けと同様に、157mmに切断後、下図のように
通し側のメカニカルファスナーに合わせて、突付け側のメカニカルファスナーを張付けてください。

L 型



T 型

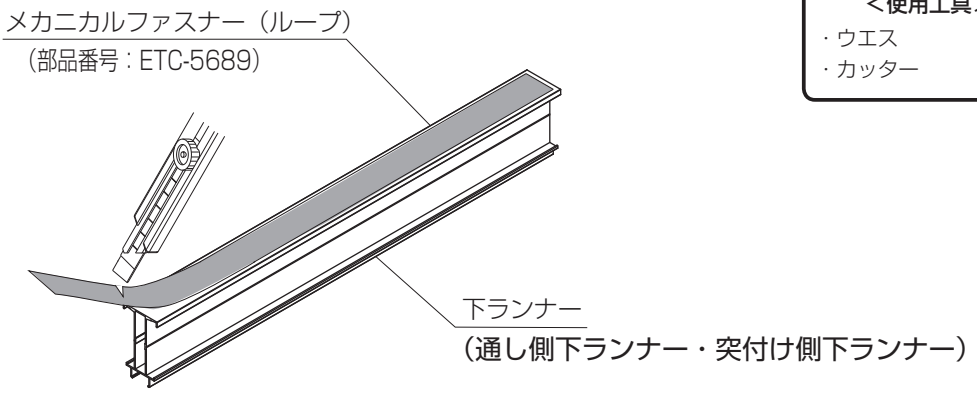


＜使用工具＞
・ウエス
・ハサミ

L・T型 共通

1-3「メカニカルファスナー（ループ）」の取付け（下ランナー側）

下ランナーの汚れなどを拭取り、下ランナーの寸法に合わせて、
メカニカルファスナー（ループ）を張付けてください。
※通し側下ランナー・突付け側下ランナーの両方に張付けてください。



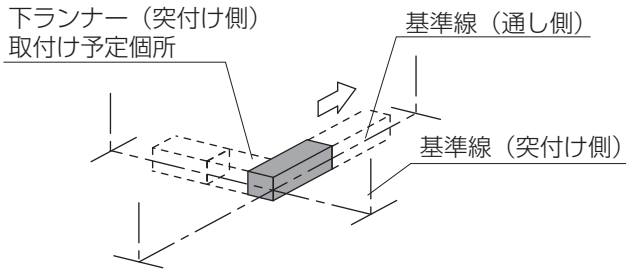
＜使用工具＞
・ウエス
・カッター

2 L・T型用 下ランナーの取付け

2-1「下ランナー(長い方)」を下図の位置に取付けてください。

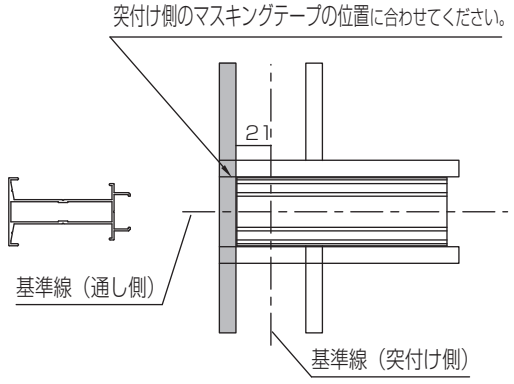
メカニカルファスナー(フック)を付けた「通し側 下ランナー」を床面のマーキングに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合わせてください。
必ず「通し側 下ランナー」より取付けを行ってください。
(可変間仕切壁との連結による部材長さの調整は、可変間仕切壁の本体側にて行います。)

L 型 部材の片側を交差するマーキングに合わせてください。

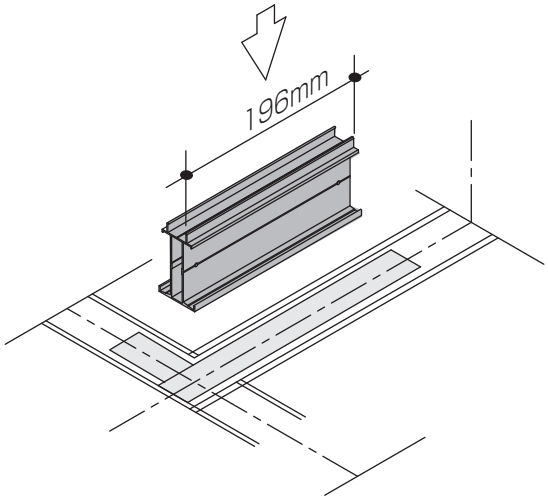


取付け位置詳細図

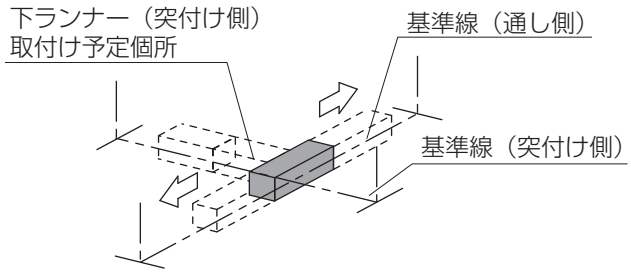
下図のように突付け側のマスキングテープの位置に下ランナーを合わせてください。



※下ランナーを上から圧着して、メカニカルファスナー同士をしっかり張合わせてください。

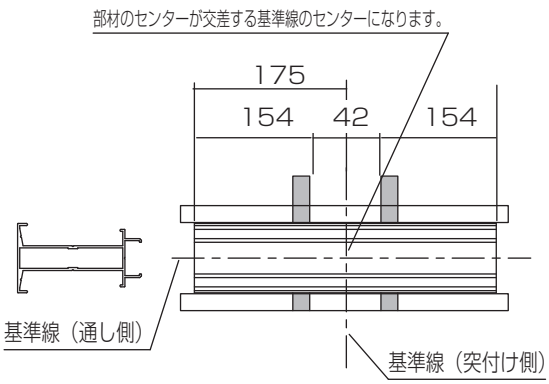


T 型 下図の「取付け詳細図」のようにセンターの位置(マスキングテープの内々から両側：154mm)になるように取付けてください。

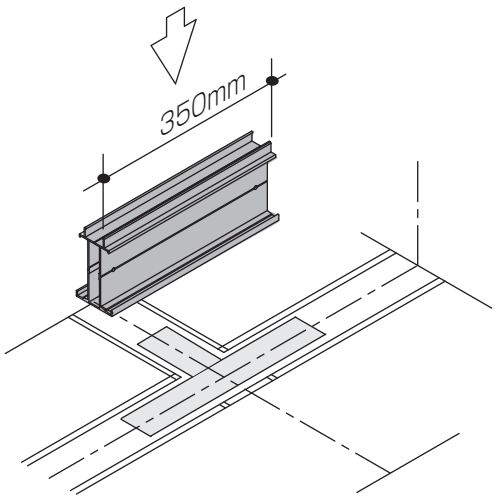


取付け位置詳細図

下図のように基準線のセンターに合わせてください。



※下ランナーを上から圧着して、メカニカルファスナー同士をしっかり張合わせてください。



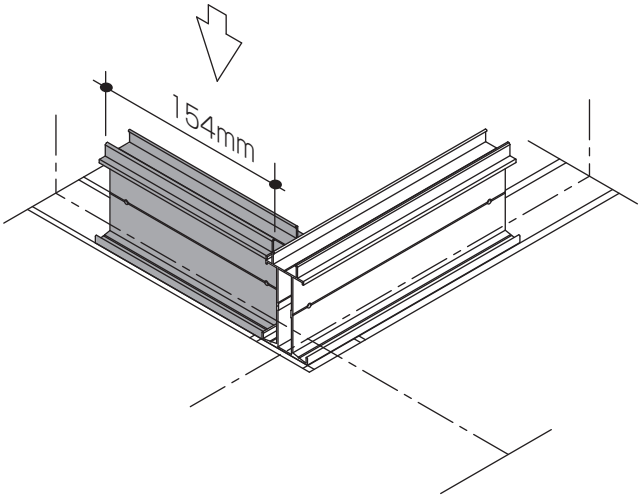
1-5「突付け側 下ランナー(短い方)」の取付け

「通し側 下ランナー」に突き当て、床面のマーキングに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合わせてください。

※下図は、L型にて表示してます。

L・T型 共通

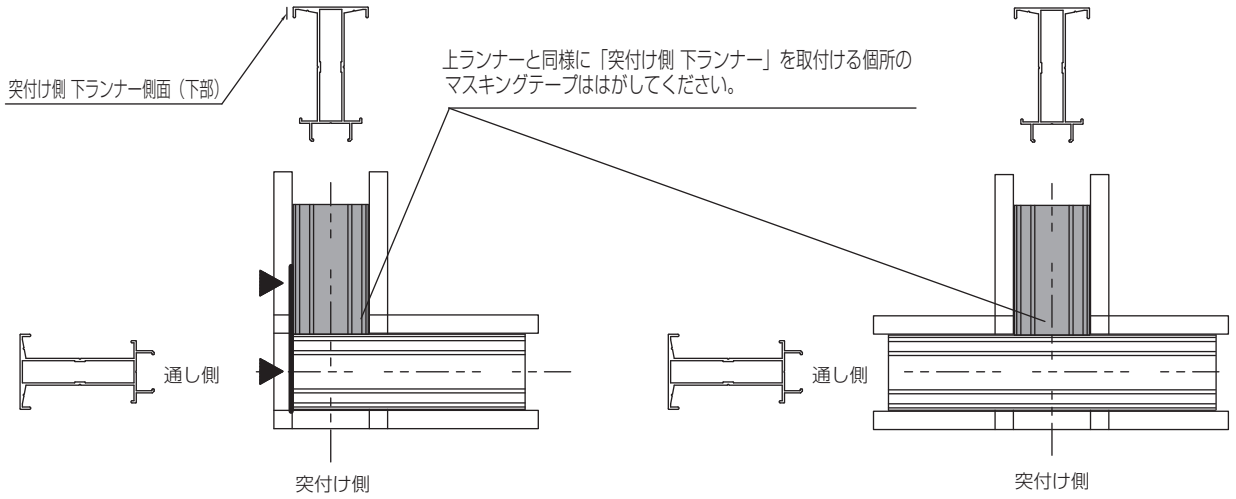
※下ランナーを上から圧着して、メカニカルファスナー同士をしっかり張合わせてください。



L型

下図のように突付け側 下ランナーの側面（下部）と
通し側 下ランナーの小口面（▲）が揃っていることを確認してください。

T型

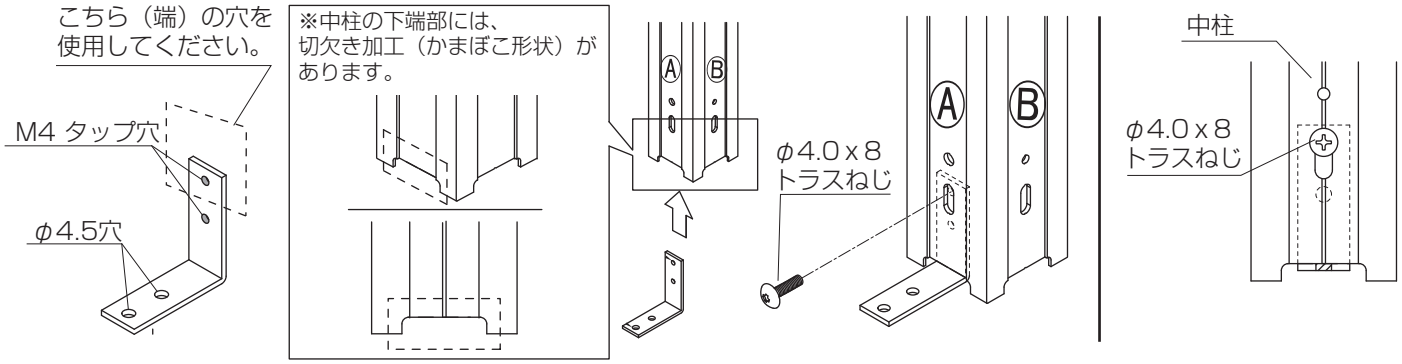


5L・T型用 中柱、柱アタッチ及び調整柱の取付け

1 中柱下部固定金具の取付け

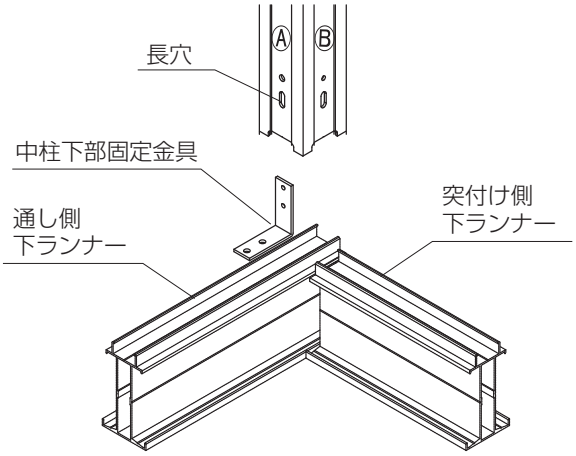
1-1 同梱されている下部固定用金具を中柱の下端(通し側)に取付けてください。
以下の「取付け位置詳細図」で位置を確認した後、取付けを行ってください。

※中柱下部固定金具には、タップ穴とφ4.5穴の2種類があり、中柱にはタップ穴(端側)を用いて取付けてください。
※中柱にある長穴の一番上の位置に合わせて、金具が滑り落ちない程度に止めてください。
※下図は、L型にて表示しています。

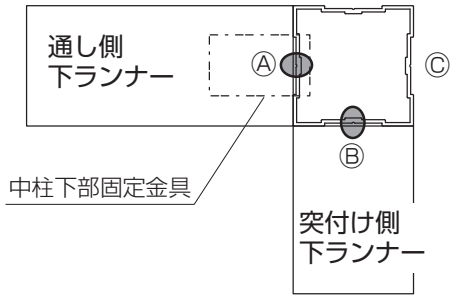


取付け位置詳細図 下部固定金具の取付け位置に注意してください。

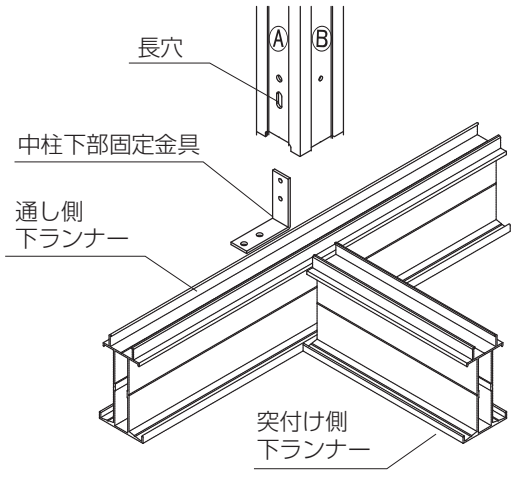
L型 下図のように、中柱の下端部には隣合う 2 面に長穴があいています。
「通し側 下ランナー」側（下図の場合 Ⓐ 面）に、中柱下部固定金具を取付けてください。



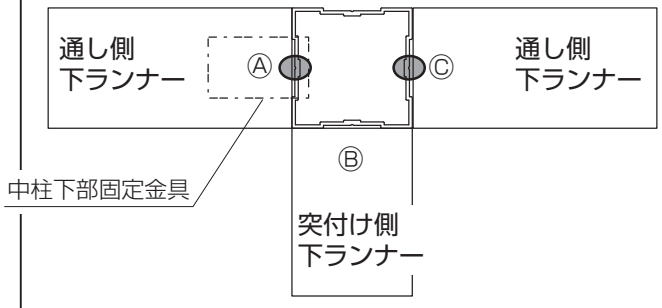
※中柱の Ⓐ 面、Ⓑ 面が必ず「可変間仕切壁」が
設置される側になるように建込まれます。
● は、中柱の長穴（下端部）の位置を示しています。



T型 下図のように、中柱の下端部には向かい合う2 面に長穴があいています。
「通し側 下ランナー」側（下図の場合 Ⓐ 面、Ⓒ 面どちらでも可）に、
中柱下部固定金具を取付けてください。



※中柱の Ⓐ 面、Ⓑ 面、Ⓒ 面が必ず「可変間仕切壁」が
設置される側になるように建込まれます。
● は、中柱の長穴（下端部）の位置を示しています。

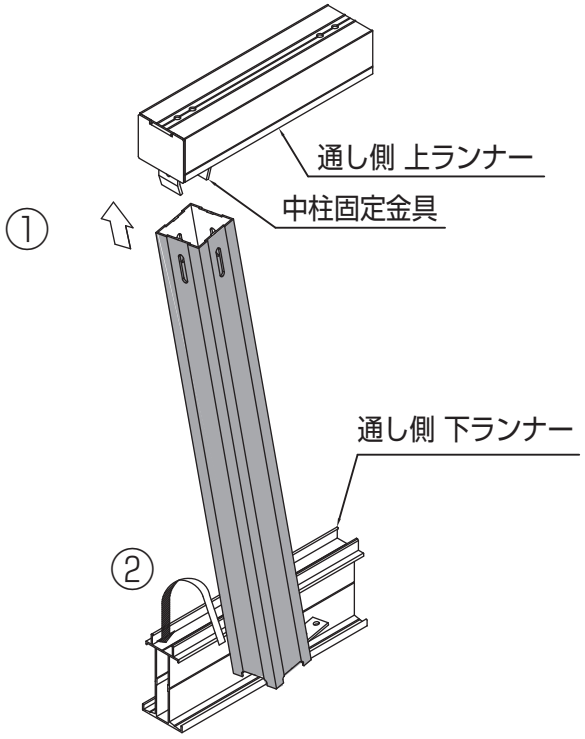


2 中柱の取付け

2-1 「通し側 上ランナー」に取付けた「中柱固定金具」に差込み、「通し側 下ランナー」の上に置いてください。
※「金尺」や「水準器」を用いて、中柱が垂直になっていることを確認してください。
※下図は、L型にて表示しています。

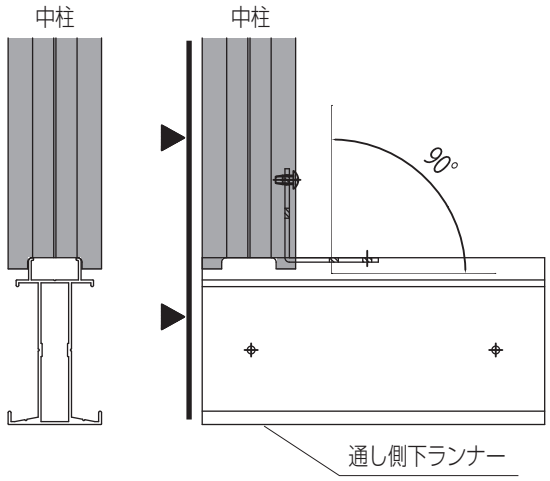
＜使用工具＞
・水準器
・電気ドリル
・プラスドライバー
・金尺

L・T型 共通



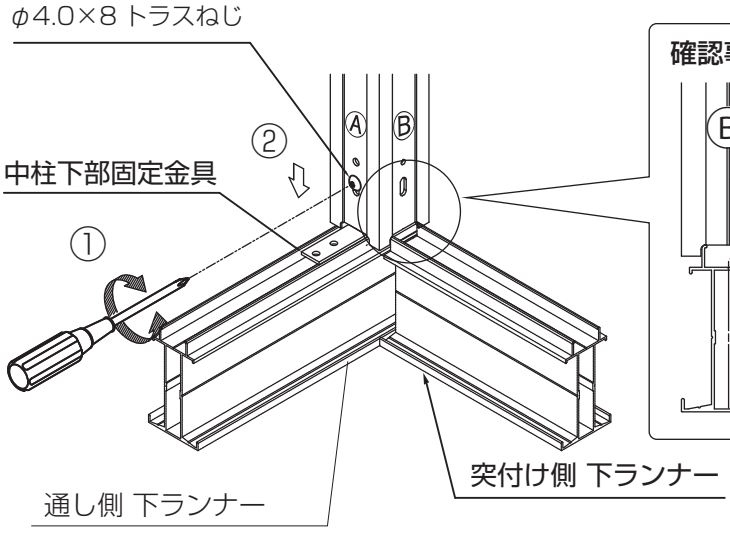
建て込み詳細　及び　確認事項

中柱 下端の加工溝が下ランナーを、またぐように建込んでください。
※L 型の場合は、必ず「通し側 下ランナー」の端部と中柱を合わせてください。

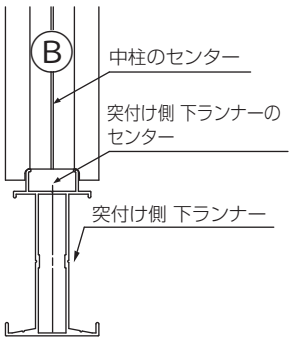


上図のように通し側 下ランナーの小口面（▲）と
中柱の側面が揃っていることを確認してください。

2-2 中柱下部固定金具の取付けねじをゆるめて、「通し側 下ランナー」に当るまで下げてください。
※取付けねじをゆるめ過ぎると、ねじが外れるおそれがあるため、ご注意ください。（目安…ねじ回転数：1回転）
※中柱のセンターが「突付け側 下ランナー」のセンターと合っていることを確認してください。

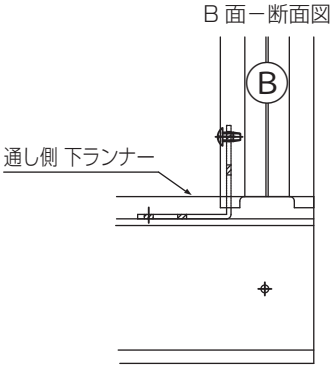


確認事項



取付け詳細

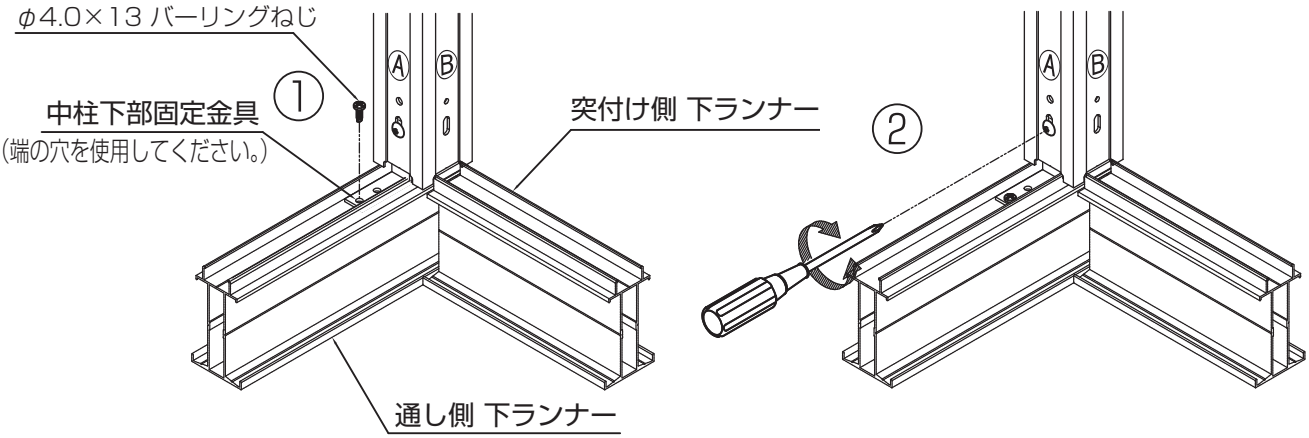
中柱下部固定金具の取付けは、下図のように
下ランナーに当たるまで下げてください。



2-3 バーリングねじを用いて、中柱と「通し側 下ランナー」を固定してください。
バーリングねじにて固定後、P28でゆるめた「取付けねじ」を再度締め直し、しっかりと固定してください。

※下図の通り、端の穴を使用して取付けてください。
※バーリングねじは、締めすぎに注意して取付けてください。
※下図は、L型にて表示しています。

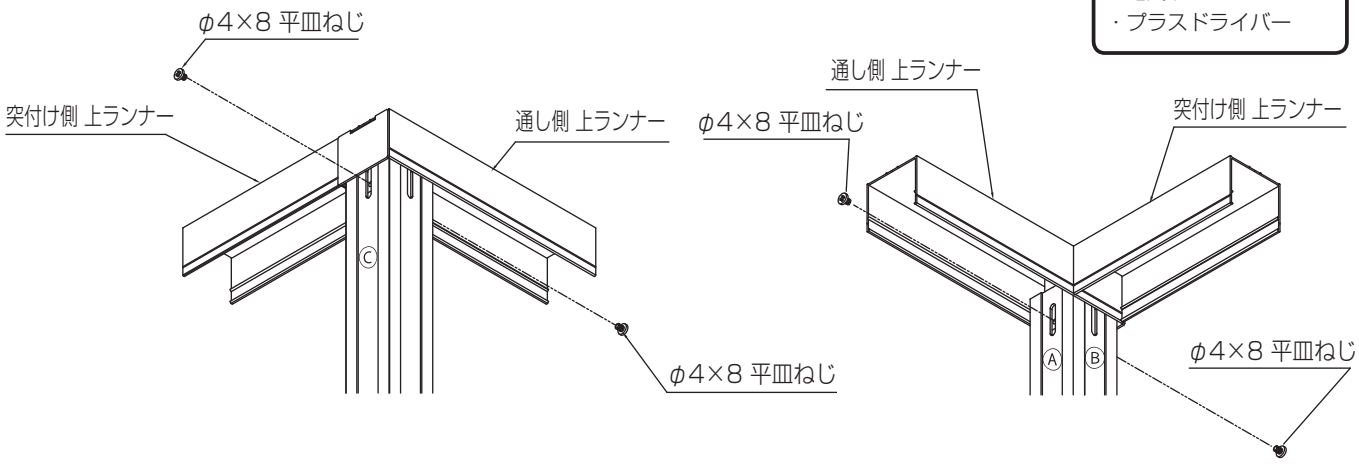
＜使用工具＞
・電気ドリル
・プラスドライバー



2-4 中柱の長穴（上端部）から「中柱固定金具」を取付けねじで固定してください。
（通し側方向の対面となる2面に取付けることになります。）

※下図は、L型にて表示しています。

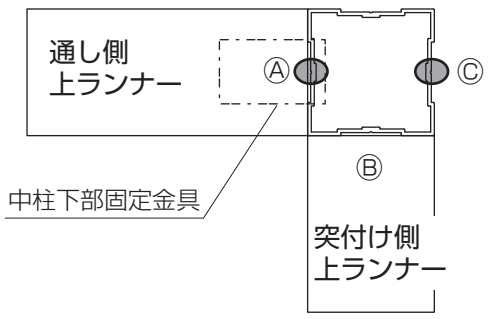
＜使用工具＞
・電気ドリル
・プラスドライバー



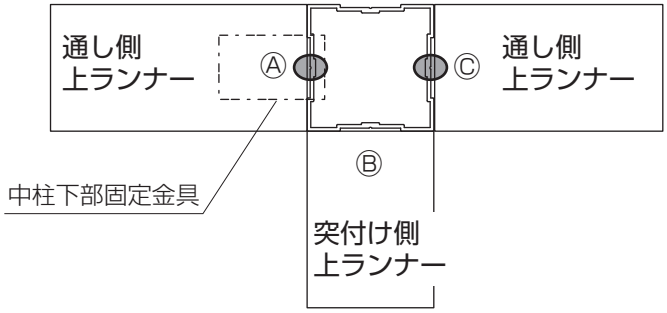
取付け位置詳細図

L・T 型に関わらず、中柱の通し側の 2 面（Ⓐ面、Ⓒ面）にねじで取付けてください。
● は、取付けねじ（φ4x8 平皿ねじ）の必要個所を示しています。

L 型



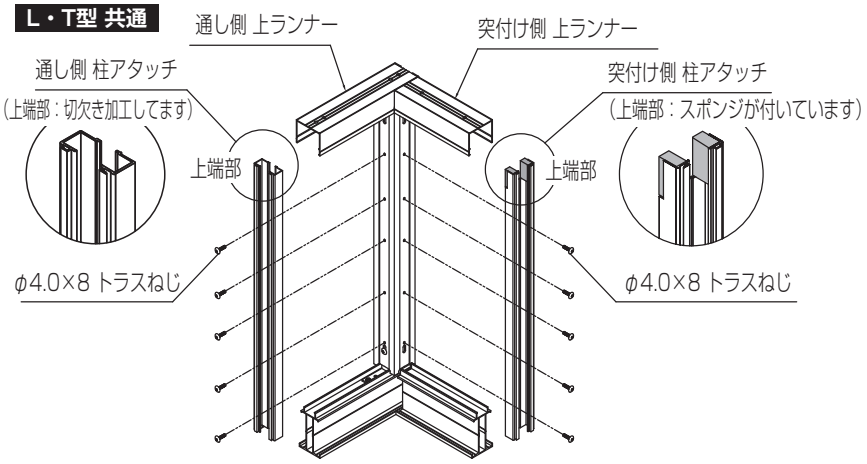
T 型



3　柱アタッチの取付け

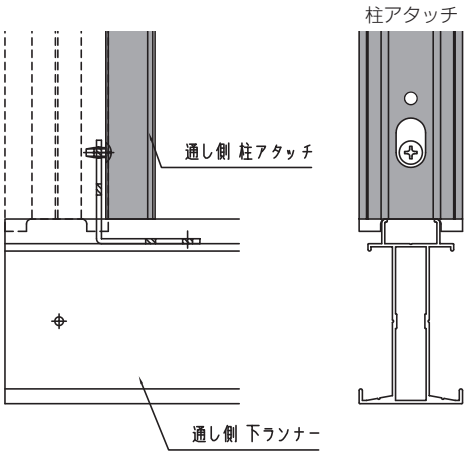
3-1 中柱に柱アタッチを下図のようにねじで取付けてください。
※「突付け側 柱アタッチ」の上端部には、すき間隠し材が付いています。
※取付けねじは、柱アタッチの丸穴全てにねじ止めしてください。

L・T型 共通



柱アタッチ 下端が下ランナーの上に乗るように取付けてください。

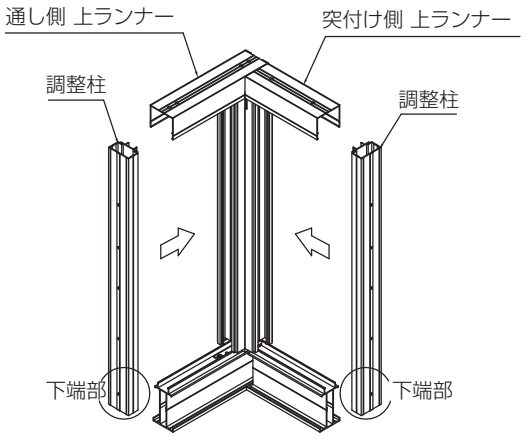
取付け詳細の例として、下図は「通し側」を示しています。



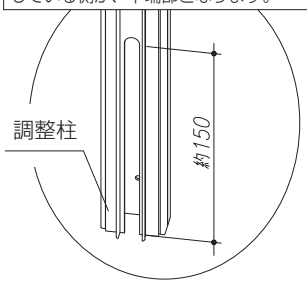
4　調整柱の取付け

4-1 柱アタッチに調整柱を下図のようにはめ合わせて取付けてください。
※嵌合が硬い場所は、木片などで当て木をして、下端側からプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。

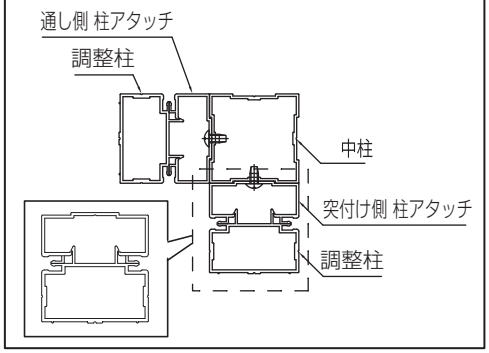
L・T型 共通



形材端部より約150mmの切欠き加工をしている側が、下端部となります。

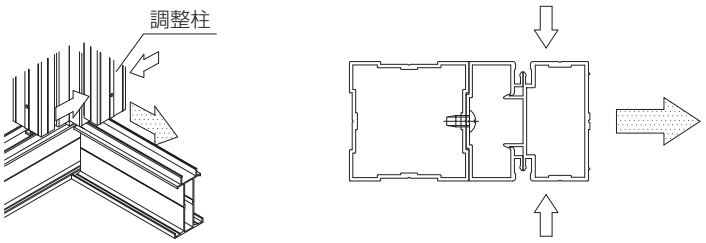


柱アタッチと調整柱ははめ合わせて取付けてください。



※調整柱を取外す場合

下図のように、調整柱下端部の側面を押しながら、手前に引いて取外してください。
※調整柱の下端のはめ合いが外れたら、下端から上端にむかって手で外すことができます。



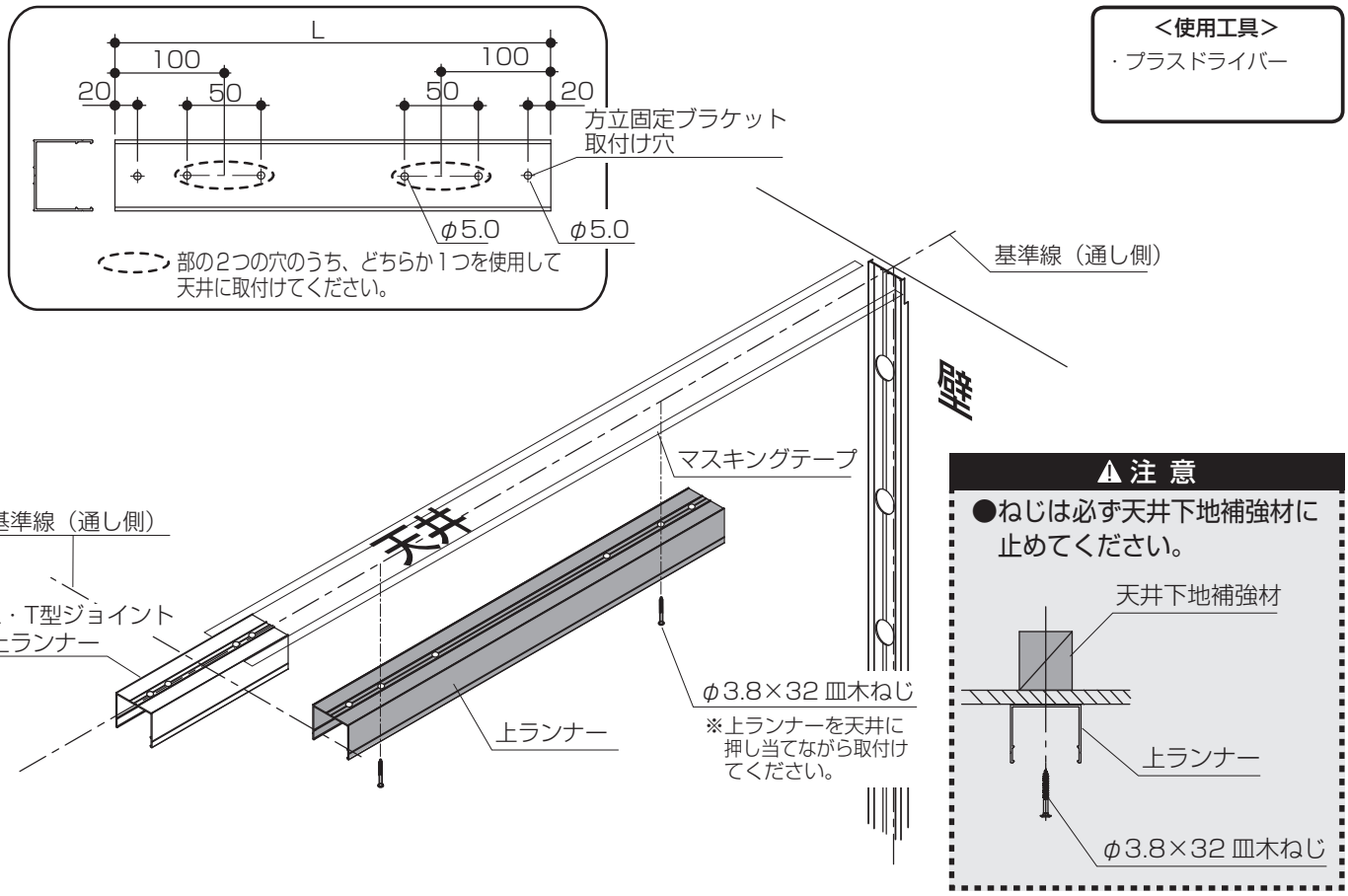
6 可変間仕切壁用 壁当りAの取付け
（壁-L・T型ジョイント納まりの場合）

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P17、18 **2　壁当りAの取付け** を参照し、作業を行ってください。

7 可変間仕切壁用 上ランナーの取付け

1 天井のマスキングテープに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。
納まりにより取付ける上ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。

お願い
※各納まりにおいて、上ランナーを切詰める場合があります。
切詰め後、下図の「加工位置詳細図」を参照し、加工してください。



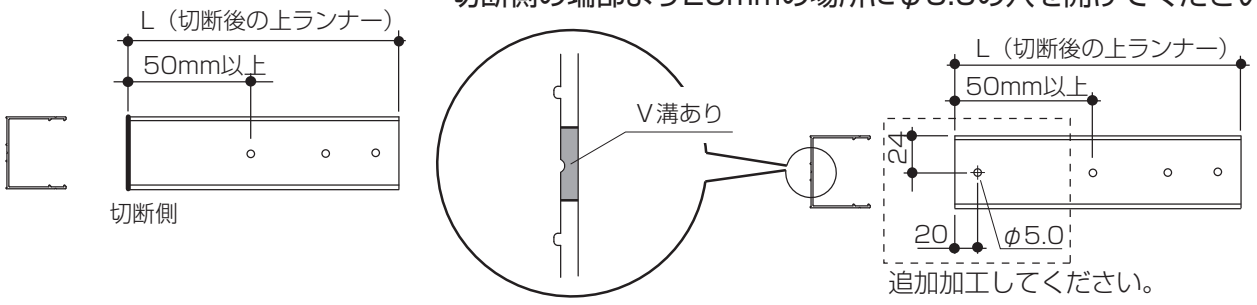
＜使用工具＞
・プラスドライバー

⚠ 注 意
●ねじは必ず天井下地補強材に止めてください。

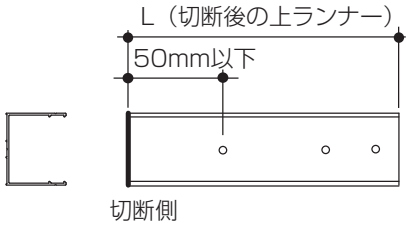
加工位置詳細図

※切断側の端部より50mmの範囲に加工穴がない場合

切断側の端部より20mmの場所にφ5.0の穴を開けてください。



※切断側の端部より50mmの範囲に加工穴がある場合

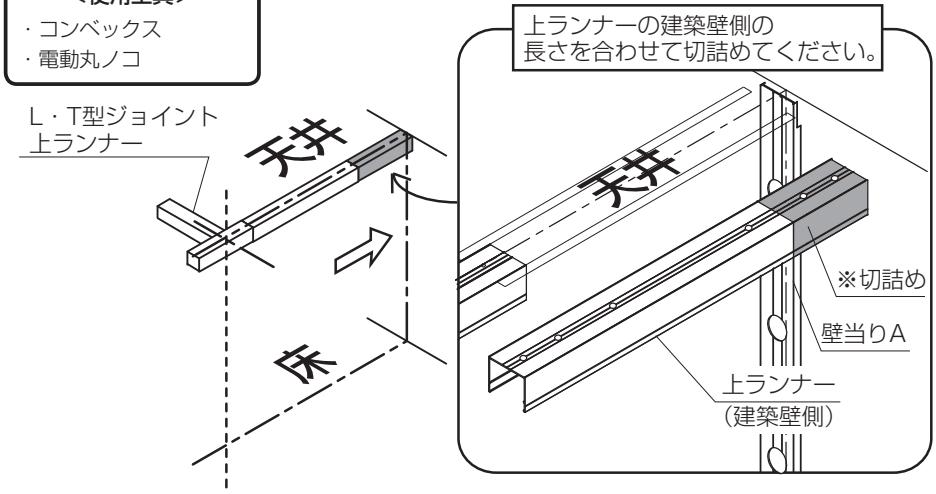


加工しなくても問題ありません。
（L・T型ジョイント-方立納まりの場合、
方立を取付ける方向に注意してください。）

① 壁 - L・T 型ジョイント

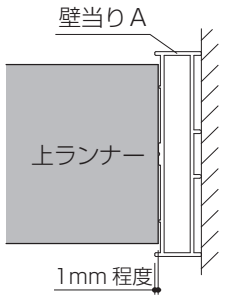
L・T型ジョイントの上ランナーから建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の上ランナーを切詰めてください。

<使用工具>
・コンベックス
・電動丸ノコ



壁当りＡとの取合い

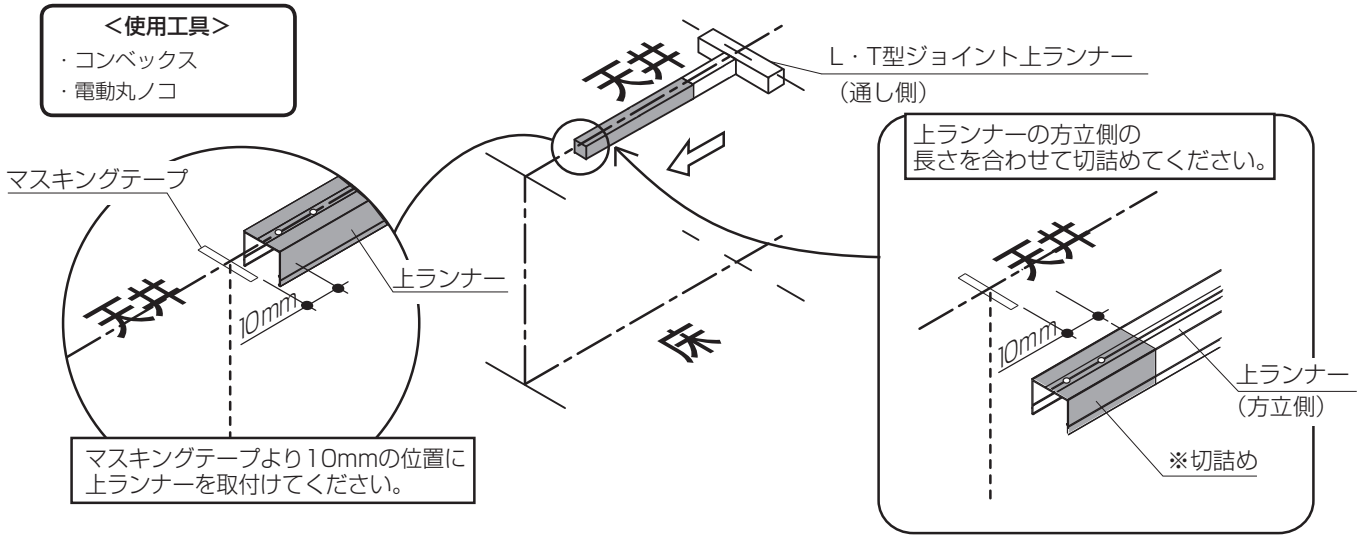
壁当りＡと上ランナーの取合いは下図のようになります。



② L・T 型ジョイント - 方立

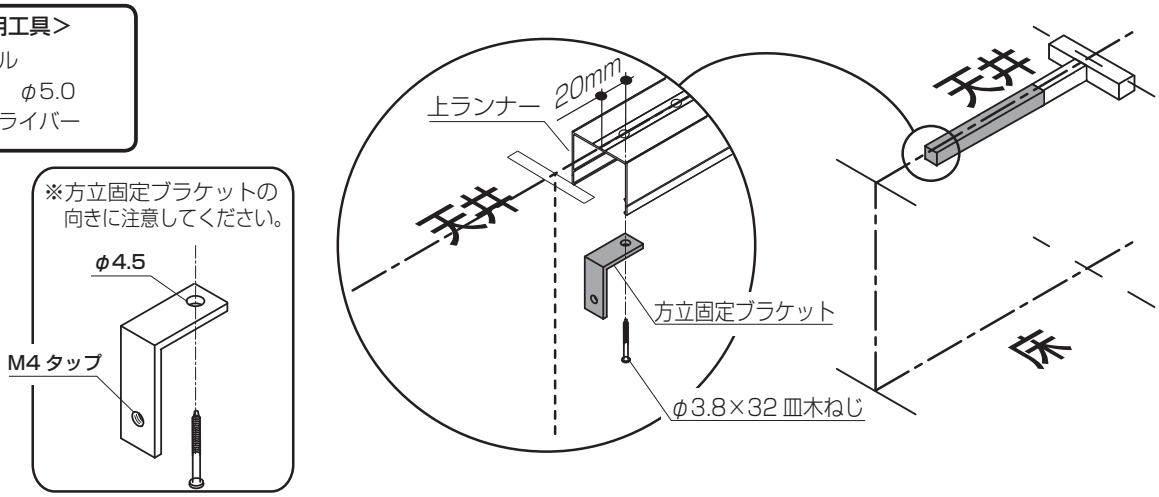
1.マスキングテープ(方立位置)より -10mm の位置に上ランナーがくるように L・T型ジョイントより取付け、方立側の上ランナーを切詰めてください。

<使用工具>
・コンベックス
・電動丸ノコ



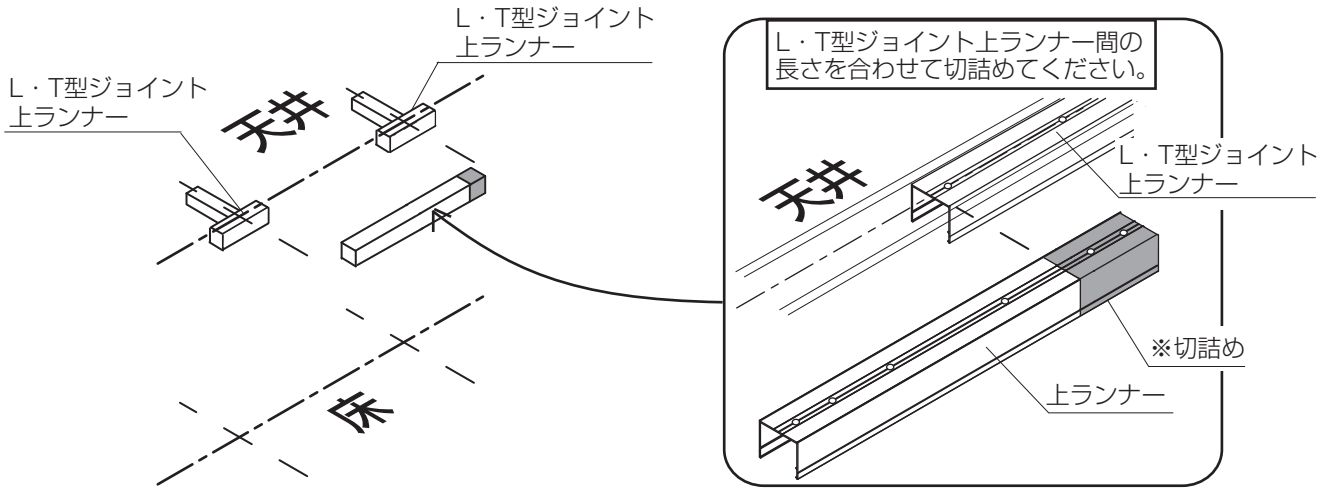
2.方立セットに同梱されている方立固定ブラケットと上ランナーを共締めしてください。（上ランナーの丸穴加工(端部より20mmの位置)が方立側にくるように取付けてください。）

<使用工具>
・電気ドリル
・ドリル刃　φ5.0
・プラスドライバー

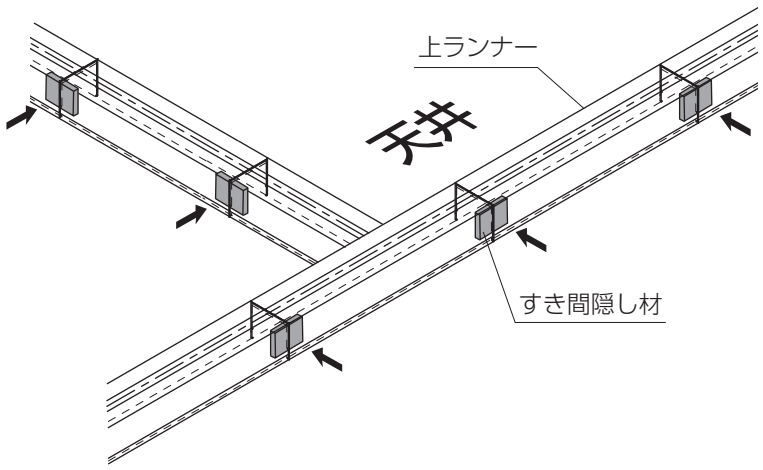


③ L・T 型ジョイント - L・T 型ジョイント

片側のL・T型ジョイント側の上ランナーを基準にして長さを合わせて切詰めてください。

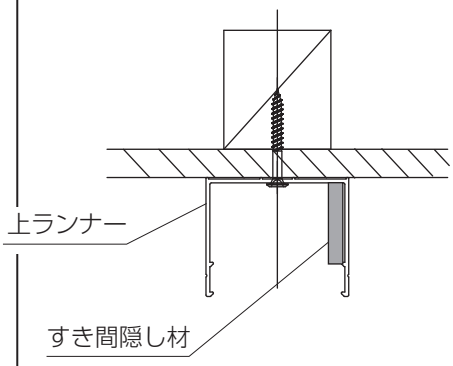


2 上ランナーのつなぎ目の内側に、すき間隠し材を張付けてください。
※下図は、T型にて表示しています。



張付け詳細

すき間隠し材は、上部側に寄せて
上ランナーの片側に張付けてください。



8 可変間仕切壁用 下ランナーの取付け

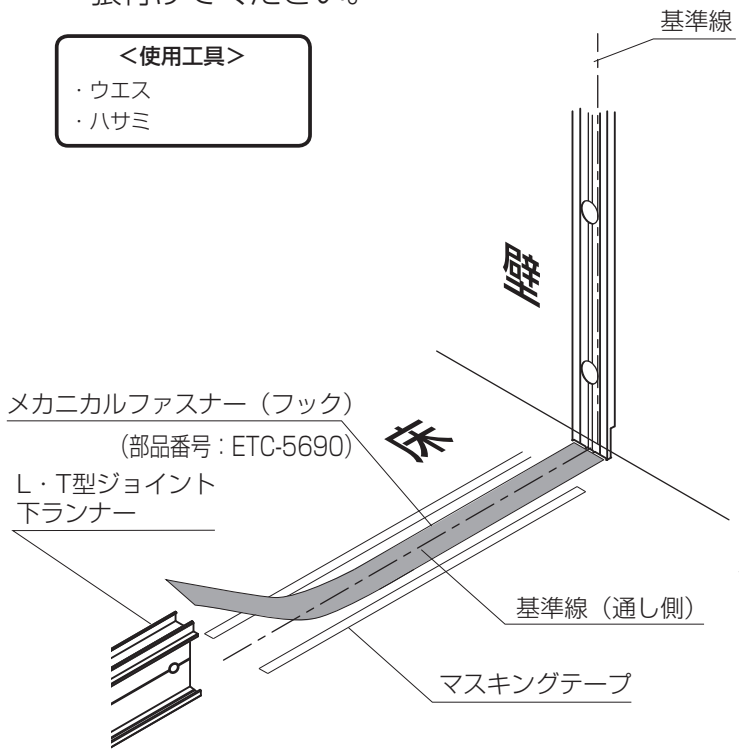
お願い

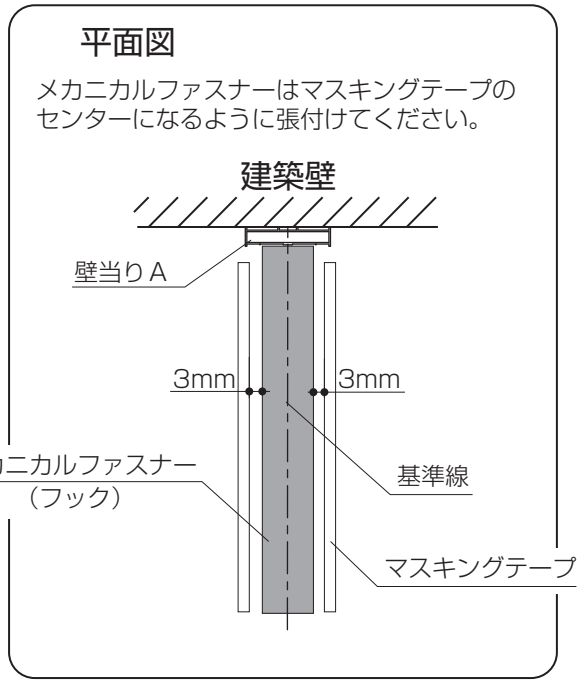
※設置前に床面の汚れなどをキレイに拭取ってください。床面に汚れなどが
ある場合、十分な接着ができなくなります。

1 メカニカルファスナー(フック)を2章で張付けた床面のマスキングテープのセンターになるように張付けてください。

※.メカニカルファスナーの張付け面に空気が入らないようにしてください。
※.メカニカルファスナーにゴミなどが付着しないようにしてください。
※.メカニカルファスナーのつなぎ目は、メカニカルファスナー同士が重ならないように張付けてください。

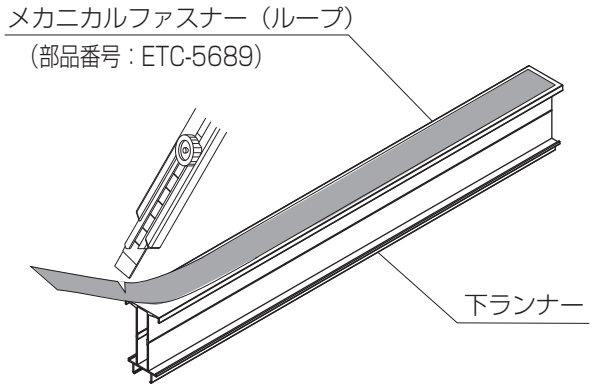
<使用工具>
・ウエス
・ハサミ





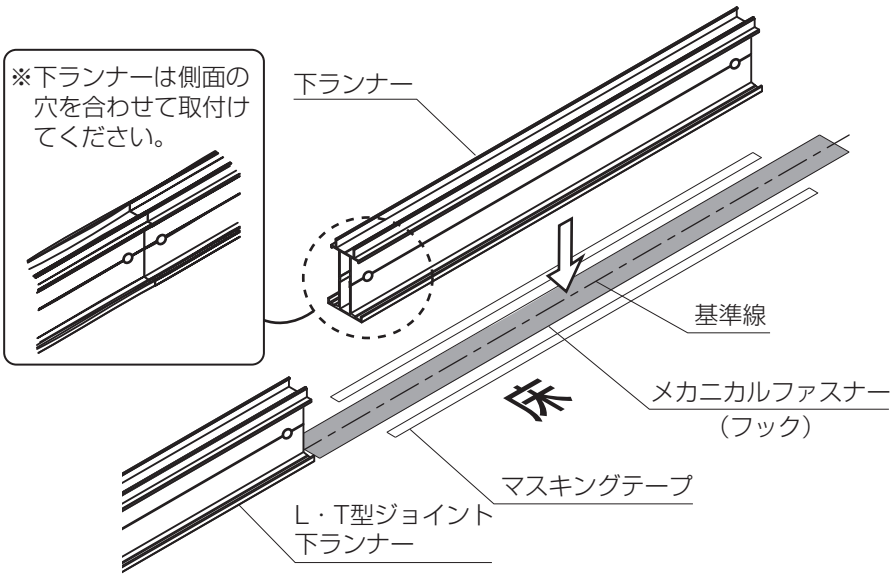
2 下ランナーの汚れなどを拭き取り、メカニカルファスナー(ループ)を張付けてください。

※.各納まりにおいて、下ランナーを切詰める場合があります。
切詰めを行ってから、メカニカルファスナーを張付けてください。



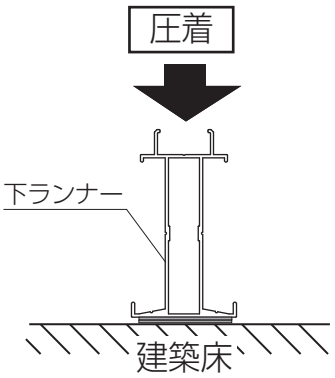
<使用工具>
・ウエス
・カッター

3 床面のマスキングテープに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合せてください。
納まりにより取付ける下ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。



断面図

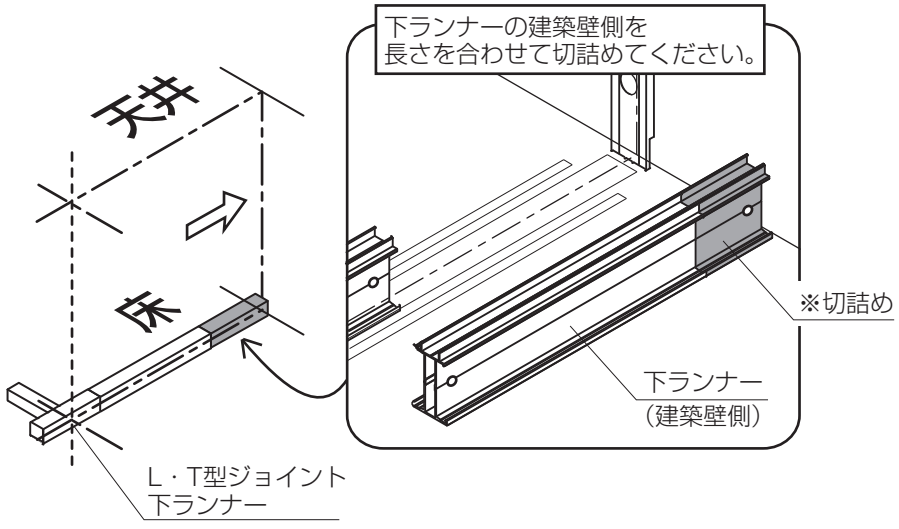
下ランナーを上から圧着して
メカニカルファスナー同士を
しっかり張合わせてください。



① 壁 - L・T 型ジョイント

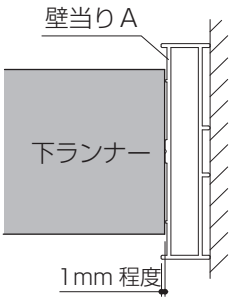
L・Tジョイントの下ランナーから建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の下ランナーを切詰めてください。

＜使用工具＞
・コンベックス
・電動丸ノコ



壁当りＡとの取合い

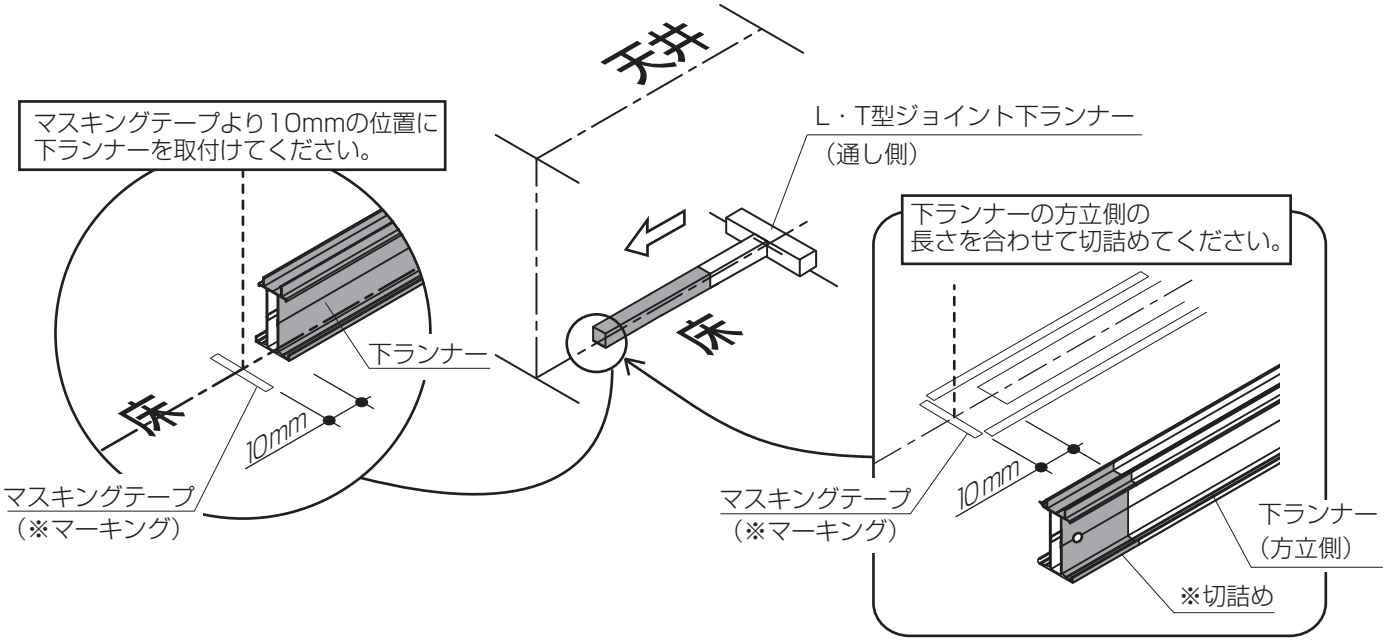
壁当りＡと下ランナーの
取合いは下図のように
なります。



② L・T 型ジョイント - 方立

マスキングテープ(方立位置)より －10mm の位置に下ランナーがくるように
L・T型ジョイントより取付け、方立側の下ランナーを切詰めてください。

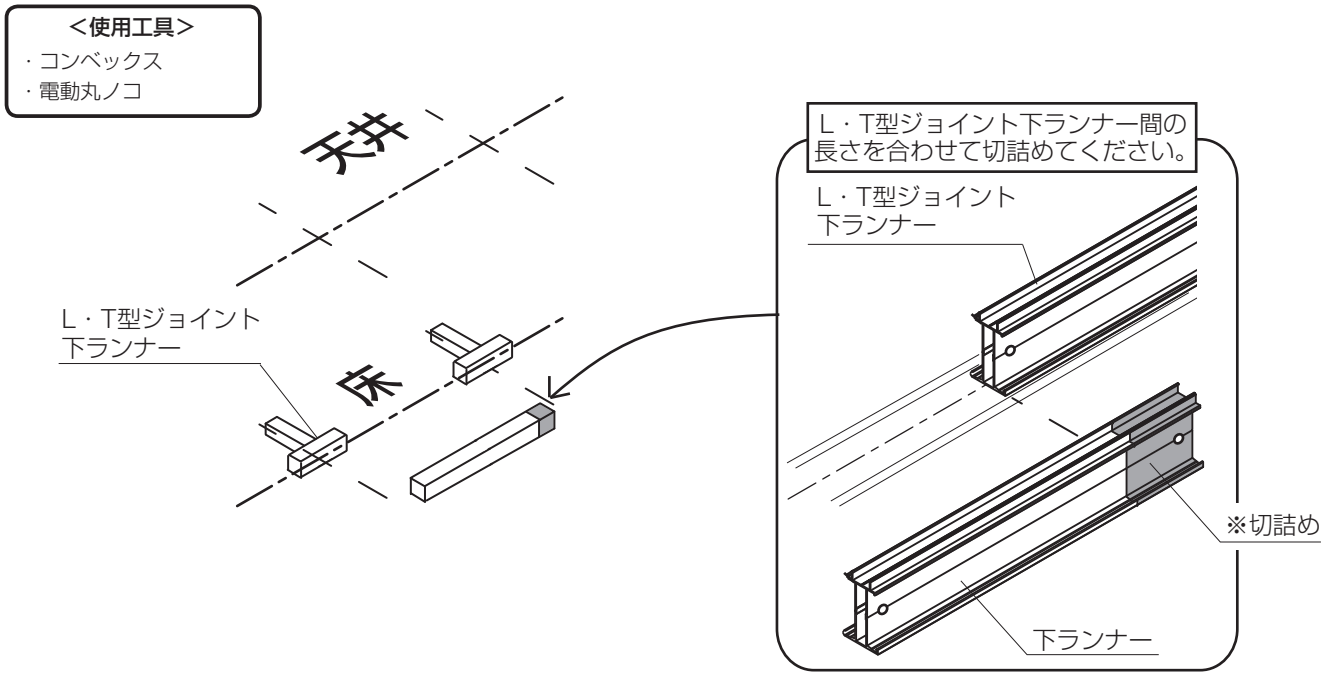
＜使用工具＞
・コンベックス
・電動丸ノコ



③ L・T 型ジョイント - L・T 型ジョイント

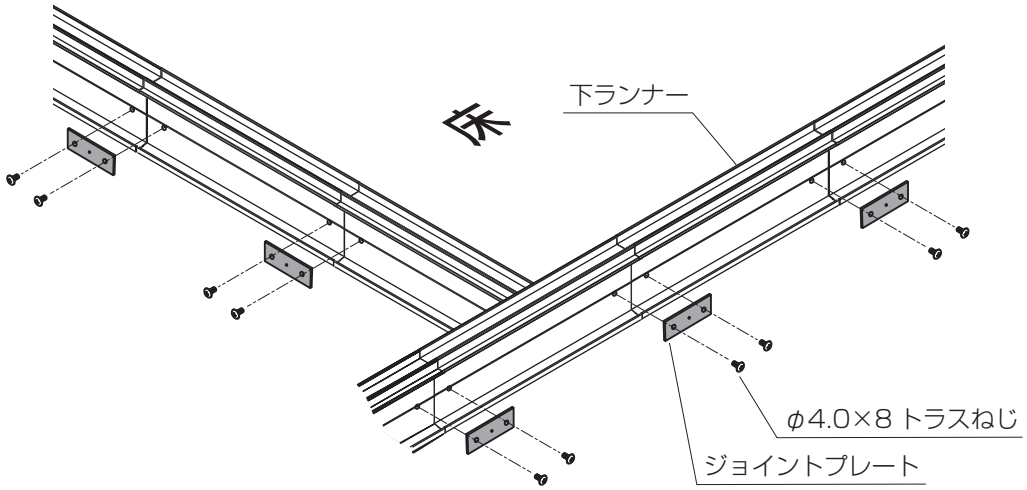
片側のL・T型ジョイント側の下ランナーを基準にして長さを合わせて切詰めてください。

＜使用工具＞
・コンベックス
・電動丸ノコ

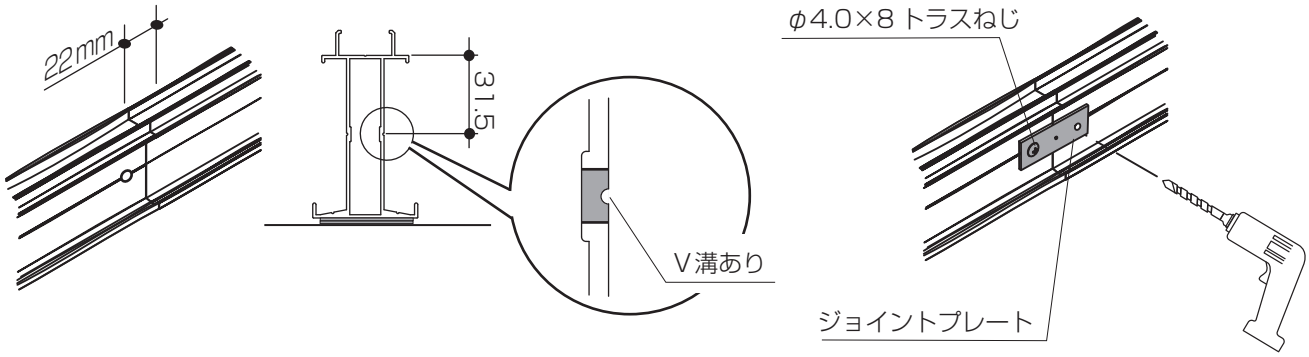


4 下ランナーのつなぎ目にジョイントプレートを取付けて連結してください。

＜使用工具＞
・電気ドリル
・ドリル刃　φ3.5
・プラスドライバー



下ランナーの側面にジョイントプレート取付け穴が無い場合は、
穴があいていない下ランナーに端部より22mmの位置にφ3.5の下穴をあけるか、
ジョイントプレートを片側に取付け後、プレート穴からＶ溝を確認できる位置に合わせてφ3.5の下穴をあけてください。



9 可変間仕切壁用 壁当りB・Cの取付け
（壁-L・T型ジョイント納まりの場合）

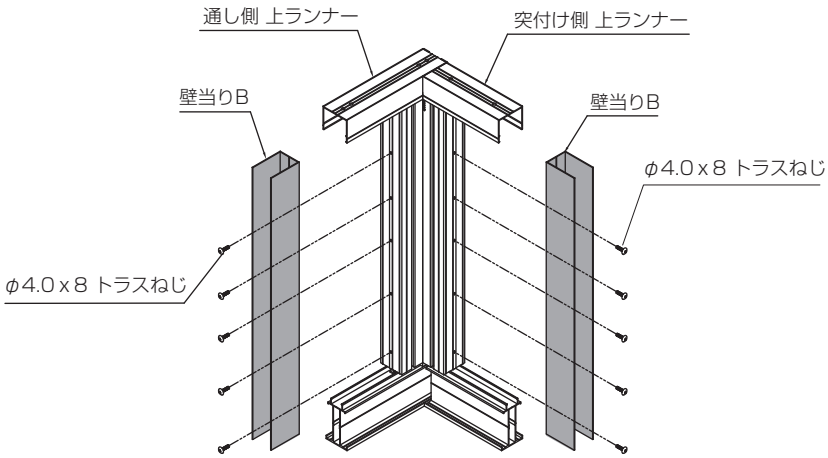
取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P26、27 **5 壁当りB・Cの取付け** を参照し、作業を行ってください。

10 L・T型用 調整材(壁当りB・C)の取付け

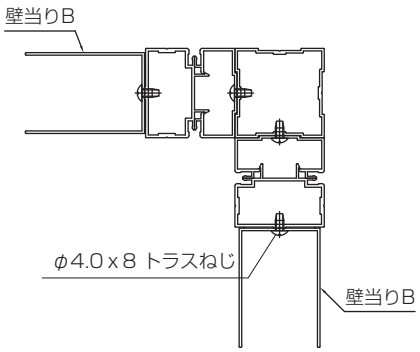
1 壁当りBの取付け

1-1 調整柱に壁当りBを下図のようにねじで取付けてください。
※取付けねじは、壁当りBの丸穴全てにねじ止めをしてください。
※下図は、L型にて表示しています。

L・T型 共通



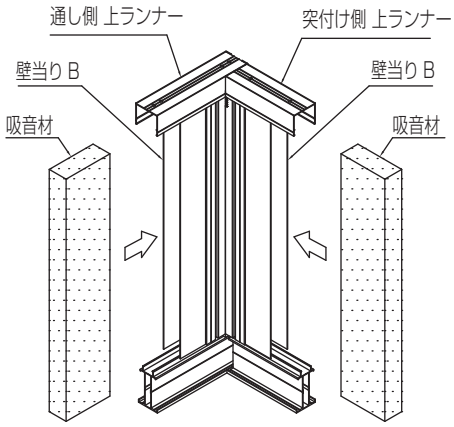
壁当りBの取付け詳細図

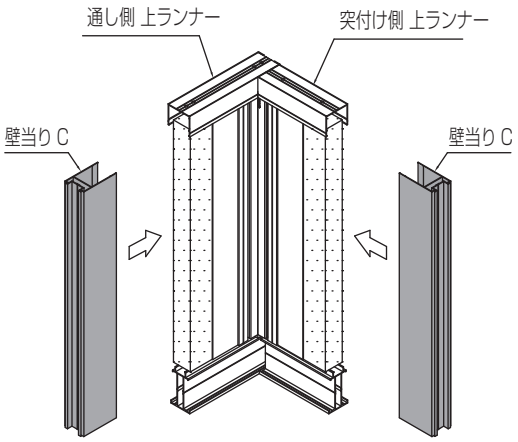


2 吸音材と壁当りCの取付け

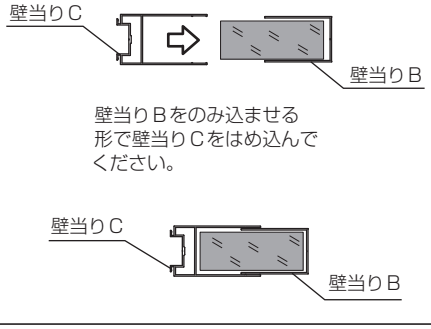
2-1 吸音材を壁当りBに入れ、壁当りCを壁当りBにはめ込んでください。
※下図は、L型にて表示しています。

L・T型 共通





断面図



11 パネルの建込み

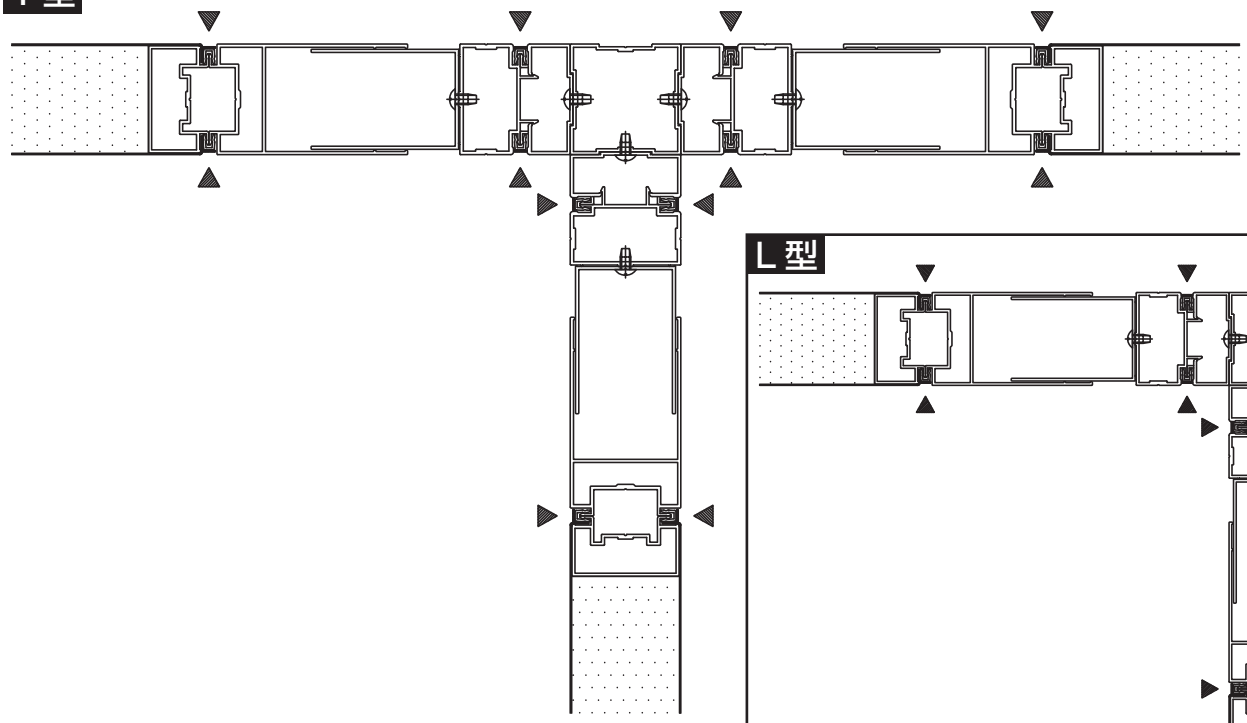
建込みの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P27、28 **6 パネルの建込み** を参照し、作業を行ってください。

12 L・T型用 目地カバーの取付け

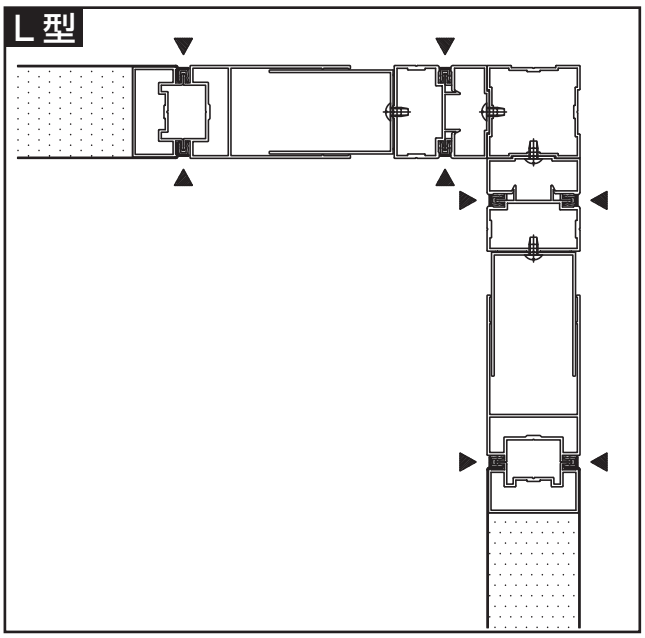
L・T型ジョイントの下図の位置に目地カバーを取付けてください。（下図の ▲ 部になります。）

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P29 **7 目地カバーの取付け** を参照し、作業を行ってください。

T型



L型



13 可変間仕切壁用 目地カバーの取付け

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P31 **8 目地カバーの取付け** を参照し、作業を行ってください。

14 方立の取付け

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P29、30 **7 方立の取付け** を参照し、作業を行ってください。

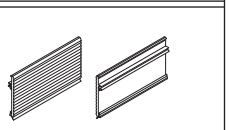
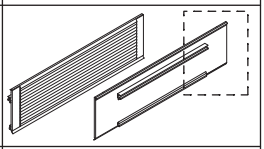
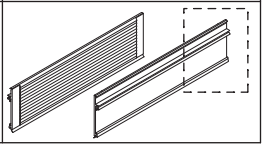
15 L・T型用幅木カバーの取付け

1 L・T型用幅木カバーの取付け

1-1 梱包内容の確認

長さ違いや加工など類似した幅木カバーが同梱されているため、再度梱包内容を確認の上、取付けを行ってください。

表 2

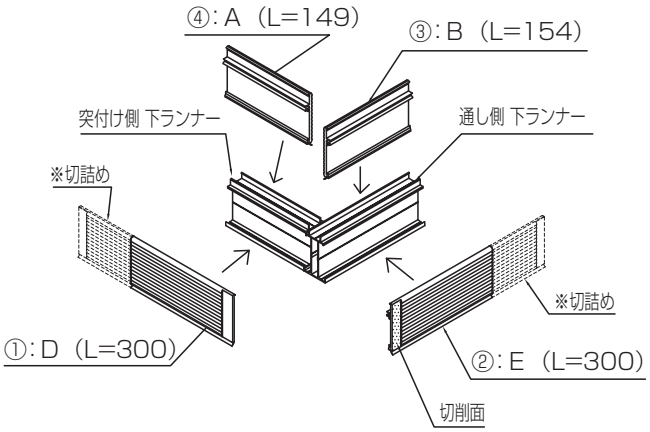
記号	名称（使用個所）	長さ	数量 L 型	数量 T 型	姿図
A	幅木カバー（突付け側）	149	1	2	
B	幅木カバー（通し側）	154	1	2	
C	幅木カバー（通し側）	350	-	1	
D	コーナー用幅木カバー（突付け側）	300	1	-	
E	コーナー用幅木カバー（通し側）	300	1	-	

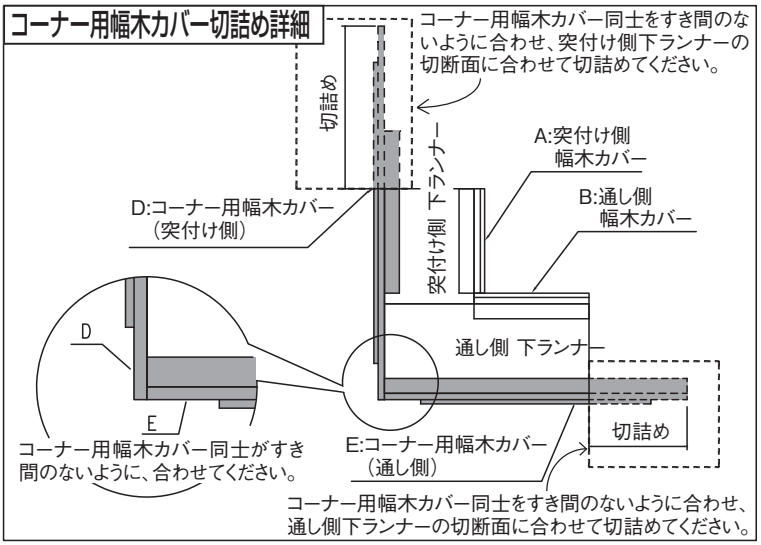
＜使用工具＞
・プラスチックハンマー

1-2 幅木カバーの取付け

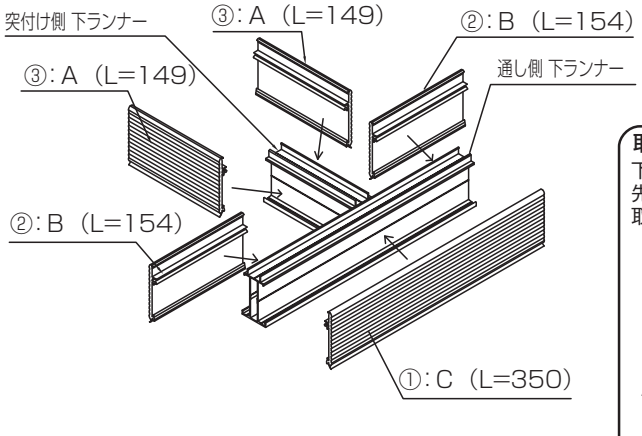
下ランナーに幅木カバーを叩き込んで取付けてください。
※はめ合いが硬い場合は、当て木をしてプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。
※上の 表2の記号は、下図の記号となっており、記号の前にある数値が取付けの順番を示しています。
必ずL・T型「幅木カバー」より取付けを行ってください。
（可変間仕切壁との連結による部材長さの調整は、可変間仕切壁の本体側にて行います。）

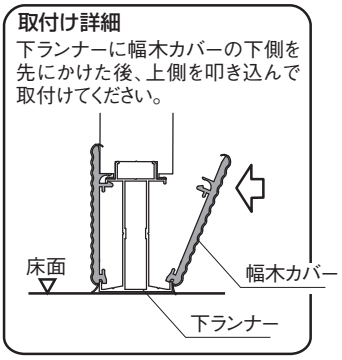
L 型 ※コーナー用幅木カバーは必ず切詰めが必要です。
右図を参照に切詰めてください。

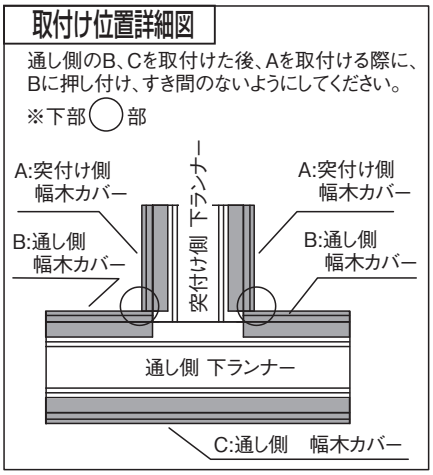




T 型



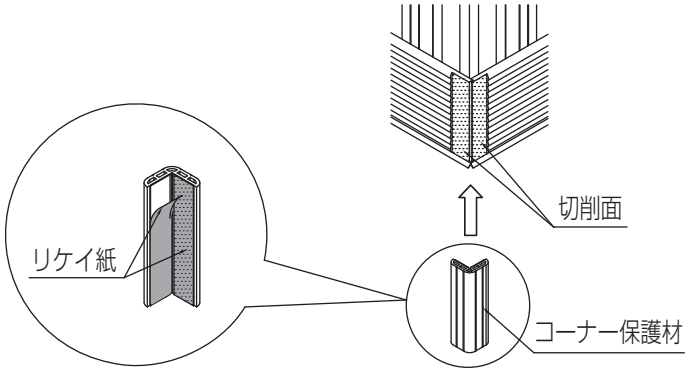




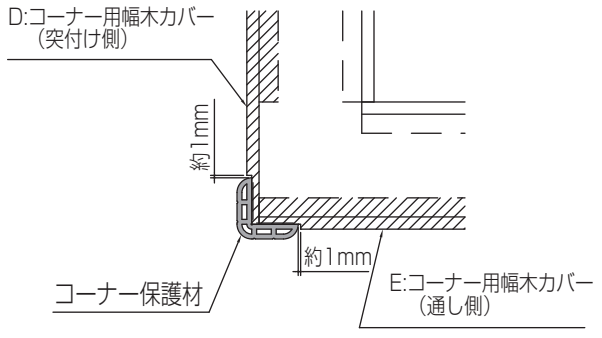
1-3 コーナー保護材の取付け　**（L型のみ）**

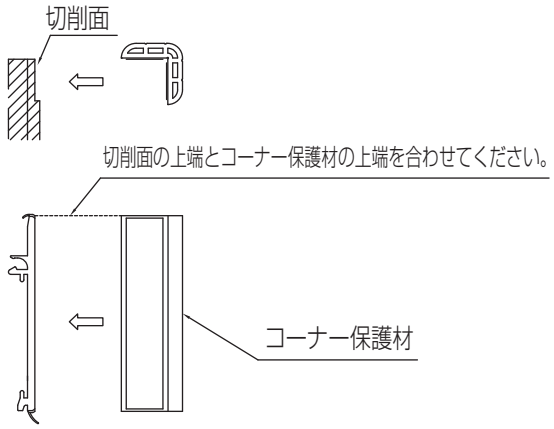
コーナー保護材にあるリケイ紙をはがし、コーナー用幅木カバーの切削面にコーナー保護材を
下図のように取付けてください。

お願い
※設置前にコーナー用幅木カバーの切削面の汚れなどをキレイに拭き取ってください。
　切断面に汚れなどがある場合、十分な接着ができなくなります。



取付け詳細図





16 可変間仕切壁用 幅木カバーの取付け

取付けの詳細は、別冊：可変間仕切壁「スタイルシフトウォール」に
記載の　P32 **9 幅木カバーの取付け** を参照し、作業を行ってください。

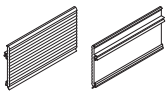
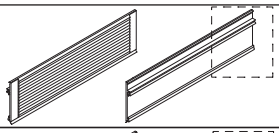
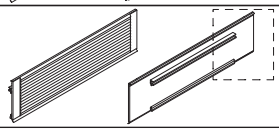
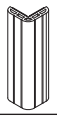
17 取付け後の製品確認と養生

⚠注 意

●取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上の不具合や危険な個所がないかを確認してください。
　また、商品にキズや、ヘコミなどがないか確認してください。
●取付け完了後に清掃を行い、引渡し前にキズがつくおそれがある場合はダンボールなどで養生をしてください。

18 移設時の部品について

1　移設をする際、下表の部品は消耗品となります。部品を手配して新品に交換してください。

名称	代表部品Ｎｏ.	姿図 又は セット内容
目地カバー	CY-2378	
幅木カバー	CY-2460	
コーナー用幅木カバー (通し側)	CY-3504	
コーナー用幅木カバー (突付け側)	CY-3503	
コーナー保護材	FO-1657	
ランナー部品セット	SE-1828	セット内容詳細については、P.2（部材構成）参照
ジョイント縦部材取付けセット	SE-1994	セット内容詳細については、P.3（部材構成）参照

19 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」という)が発生した場合には、お取り扱いの取付け業者、工務店、販売店または当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

取付け業者より商品の引渡し日(※1，※2)から起算して次の期間とします。

①商品の不具合については2年間。

※1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日を起算日とします(ただし、保証対象は改修部分のみ)。

※2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体貼付けラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、取付け上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など)

②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など。木製品の反り、曲がり、ねじれ、ささくれ、ひび割れ、色褪せ、変色など、樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合

⑥環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス、給湯機器などの燃焼ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)

⑦メンテナンス上の不備に起因する商品の不具合(例えば商品又は部品を長期間、清掃<水洗いなど>をしないことによっておきる腐食、シミ、汚れの発生など)

⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨実用化されている技術では予測及び防止することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合

⑪植栽による不具合(例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など)

⑫引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理(お手入れ)を行わなかったことによる不具合

⑬お客様自身による組立て、取付け、修理、改造(必用部品の取外しを含む)に起因する不具合

⑭本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

MEMO

商品に関するお問合せは、お客様相談センターまで

・商品のご購入・使い方などのご相談
・有償での修理と部品のご購入

0120-126-001　Fax 03-3638-8447

受付時間‥‥月～金 9:00～18:00（祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く）
外壁材に関する商品相談は‥‥旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル 0570-001-117
店舗関連商品に関する商品相談は‥‥Tel 03-3638-8152　月～金 9:00～17:00（祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く）

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』をご覧ください。

LIXIL
Link to Good Living

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、
株式会社LIXILとしてお客さまの多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで
http://www.lixil.co.jp/

取説番号 MBA-151A	事業所コード CPZ1	2011.7.1 発行

MBA151A

SHINNIKEI 新日軽

アルミインテリア建材 ビュライ 可変間仕切壁スタイルシフトウォール L型タイプ・T型タイプ 取扱い・取付け説明書

LIXIL